

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第19週 > 水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してやや多い状態である / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-10

< 麻しん > 第19週の報告数は214例と前週の88例よりも大幅に
増加した



病原体情報
P.11-14

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年 / 感染性
胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン / インフルエンザウイルス
2006/07シーズン



速報
P.15-19

オウム病 1999年4月～2007年第13週(2007年5月17日現在)



海外感染症情報
P.20

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.21-22

< チクングニヤ熱 >

国内での感染、流行はないが、
2006年12月に海外からの輸入症例
2例が報告された



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(19週)
P.23-29



19週のデータ
P.30-42



発生動向総覧

2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

< 第19週コメント > 5月17日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

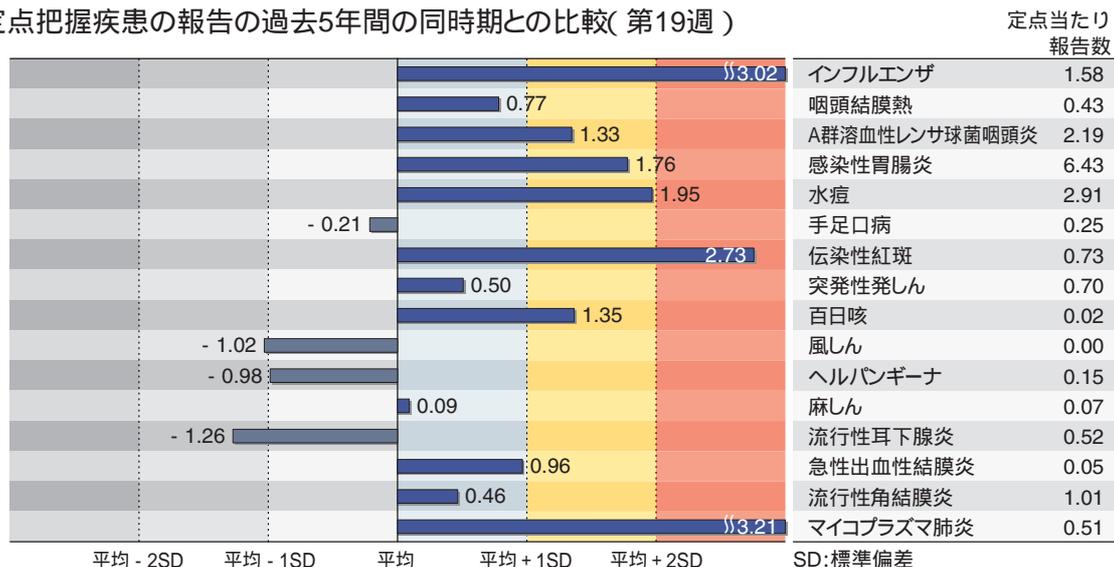
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 結核 177例
 - 3類感染症: 細菌性赤痢 13例(感染地域: 秋田県1例、千葉県1例、愛知県1例、フィリピン3例、インドネシア2例、エジプト2例、インド1例、ベトナム/ラオス1例、エジプト/サウジアラビア1例)
 - 腸管出血性大腸菌感染症 46例(うち有症者41例、HUSなし)
 - 感染地域: 国内45例、ベトナム1例
 - 国内の多い感染地域: 福岡県8例、石川県7例、東京都4例、福井県3例
 - 年齢群: 10歳未満(10例)、10代(5例)、20代(10例)、30代(5例)、40代(3例)、50代(7例)、60代(4例)、70代(2例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(28例)、O157 VT2(4例)、O26 VT1(2例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O119 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、O157 VT1(1例)、その他/不明(6例)
 - 腸チフス 1例(感染地域: ペルー)
 - パラチフス 1例(感染地域: インド/香港)
 - 4類感染症: A型肝炎 5例
 - (感染地域: 石川県2例、東京都1例、兵庫県1例、パプアニューギニア1例)
 - オウム病 1例(感染地域: 茨城県、感染源: インコ)
 - つつが虫病 1例(感染地域: 群馬県)
 - デング熱 1例(感染地域: インドネシア)
 - レジオネラ症 7例(すべて肺炎型)
 - 年齢群: 60代5例、70代1例、80代1例
 - 感染地域: 茨城県2例、埼玉県1例、愛知県1例(温泉)、京都府1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)1例
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 8例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症2例)
 - 感染地域: 国内4例、国内/フィリピン1例、国内/タイ1例、台湾/ベトナム/中国1例、国外(国不明)1例
 - 感染経路: 性的接触4例(異性間2例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)、経口/性的接触3例(異性間2例、異性間・同性間不明1例)、不明1例
 - ウイルス性肝炎 1例(B型、感染経路: 不明)
 - 急性脳炎 3例(すべて病原体不明、30代1例、50代1例、60代1例)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(すべて孤発性プリオン病古典型)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(50代)
 - 後天性免疫不全症候群 14例(AIDS 5例、無症候9例)
 - 感染地域: 国内11例、タイ1例、ザンビア1例、国外(国不明)1例
 - 感染経路: 性的接触10例(異性間2例、同性間7例、異性間・同性間不明1例)、性的接触(同性間) 静注薬物常用1例、不明3例
 - ジアルジア症 2例(感染地域: 国内1例、インド1例)
 - 髄膜炎菌性髄膜炎 1例(感染地域: 国内)
 - 梅毒 9例(早期顕症I期4例、早期顕症II期3例、晩期顕症1例、無症候1例)
 - 破傷風 2例(40代1例、80代1例)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
 - (とともに遺伝子型: 不明、菌検出検体: 尿)
- (補)他にアメーバ赤痢1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、オウム病1例(感染地域: 静岡県、感染源: ハト)、急性脳炎1例(A型インフルエンザウイルス、40代)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例(50代1例、60代1例、70代1例、80代1例、うち死亡2例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第19週)



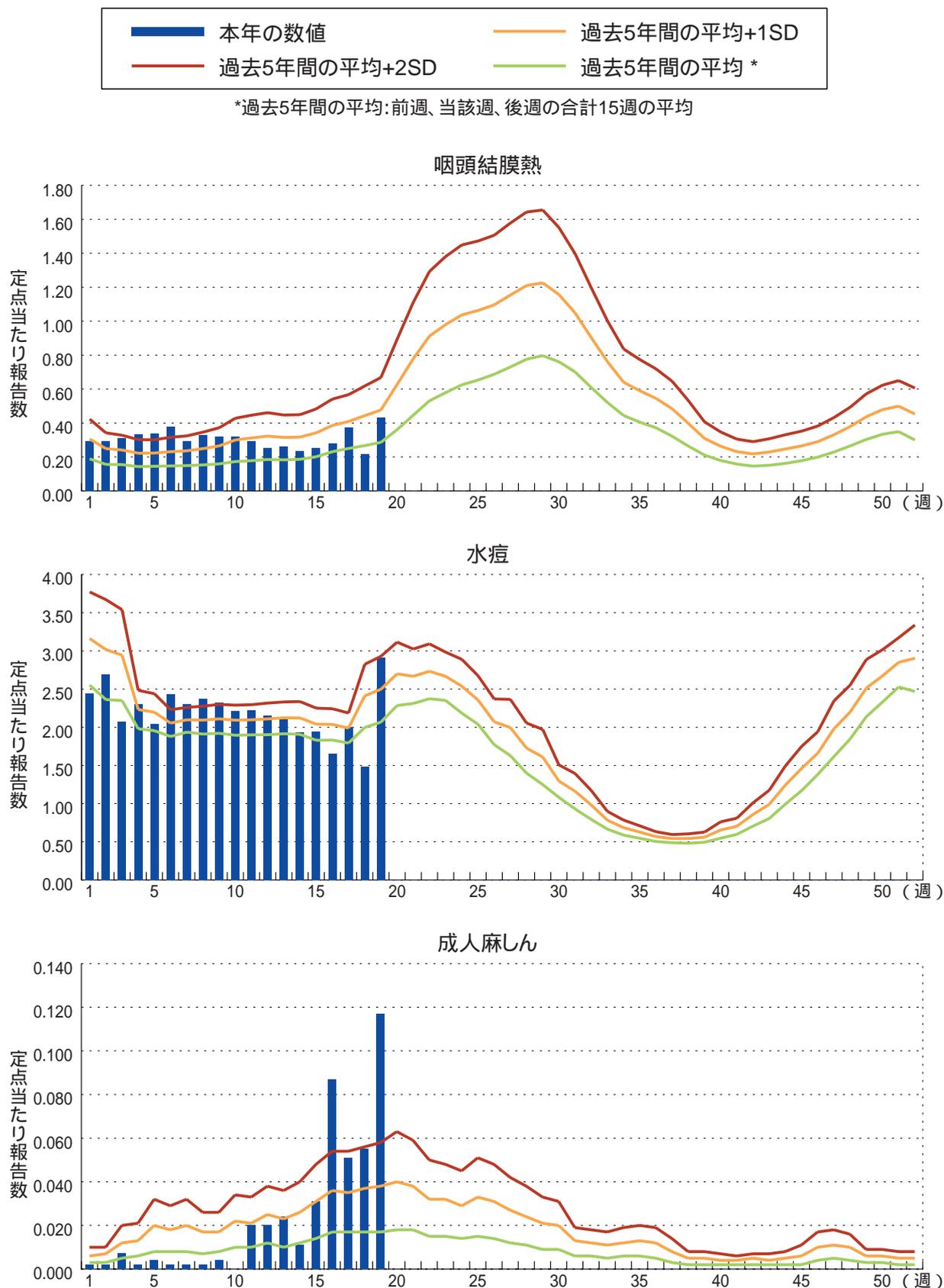
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は第12週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では秋田県(8.4)、沖縄県(6.9)、岩手県(5.7)、北海道(4.8)、山形県(4.0)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は233例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(1.14)、島根県(1.04)、山口県(1.00)、広島県(0.94)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では富山県(5.1)、鳥取県(4.1)、山口県(3.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では大分県(14.4)、福井県(12.5)、宮崎県(11.3)、三重県(11.3)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では福井県(5.0)、富山県(4.9)、宮崎県(4.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では熊本県(1.94)、佐賀県(1.74)、鹿児島県(0.98)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態である。都道府県別では富山県(2.7)、石川県(2.7)、栃木県(1.6)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では千葉県(0.15)、栃木県(0.11)、長崎県(0.07)が多い。風しんの報告数は微増した。都道府県別では東京都4例、千葉県2例、宮城県、茨城県、埼玉県、神奈川県、大阪府、兵庫県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では広島県(0.56)、島根県(0.52)、長崎県(0.52)が多い。麻疹の報告数は増加し、26都道府県から214例の報告があった。都道府県別では千葉県56例、埼玉県35例、東京都31例、神奈川県22例、北海道、大阪府各10例、山梨県7例、栃木県6例、長野県5例、宮城県4例、茨城県、群馬県、鹿児島県各3例が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(1.9)、秋田県(1.9)、高知県(1.7)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態である。都道府県別では沖縄県(3.6)、栃木県(2.3)、福島県(2.1)が多い。成人麻疹の報告数は53例と増加した。東京都19例、宮城県6例、埼玉県、千葉県、島根県から各4例、北海道、山梨県から各3例、山形県、神奈川県から各2例、茨城県、富山県、石川県、兵庫県、和歌山県、大分県から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～19週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

麻疹

麻疹は麻疹ウイルス(Paramyxovirus科Morbillivirus属)によって引き起こされる感染症であるが、空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。典型的な麻疹を発症した場合、感染後10日間前後の潜伏期を経て、3日間前後続くカタル期で発症し、その後高熱と全身の発疹を呈する発疹期に至る。カタル期においては、麻疹に特異的な症状は口腔内に認められるコプリック斑であるが、他は咳、くしゃみ、鼻水等の非特異的な感冒様症状や結膜充血、眼脂等の結膜炎症状が主であり、麻疹と気付かれない場合も少なくない。麻疹は通常は症状出現の1日前頃より他者への感染性があるといわれており、また感染力はカタル期において最も強いために、発疹期となって症状が本格化するまでの期間に麻疹と自覚することなく発病者から感染を拡大させてしまう場合も少なくない。特に現在報告されている成人麻疹症例の大半を占める10代後半から30代前半にかけての年齢層は行動範囲が広く、乳幼児が発病した場合と比べて広範囲に麻疹ウイルスを伝播させる可能性が高い。麻疹は特異的な治療法はなく、カタル期・発疹期を合わせると1週間以上高熱が続き、入院率や肺炎、脳炎、中耳炎などの合併症発生率が未だに高い疾患である。

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの麻疹の報告数は、2007年第19週は26都道府県から214例(定点当たり報告数0.071)と前週の88例(定点当たり報告数0.030)より大幅に増加した(図1)。都道府県別では千葉県56例、埼玉県35例、東京都31例、神奈川県22例、北海道、大阪府各10例、山梨県7例、栃木県6例、長野県5例、宮城県4例、茨城県、群馬県、鹿児島県各3例の順であり、南関東地域からの報告数が増加すると共に、その周辺地域のみならず遠隔地域においても患者発生がみられている。2007年第1～19週までの小児科定点からの累積報告数は691例であり、既に2005年、2006年の1年間の累積報告数(それぞれ537、519)を上回った。都道府県別では埼玉県168例、東京都109例、千葉県107例、神奈川県56例、大阪府30例、栃木県24例、北海道、鹿児島県18例、茨城県17例、長野県15例、宮城県、山梨県、愛知県各14例、兵庫県、徳島県各12例の順となっている(図2)。累積報告数の上位5都府県の報告数の週別推移をみると、第19週の報告数は5都府県ともに2007年の最高値となっている(図3)。累積報告数の年齢別割合では0～4歳の報告割合は39.7%と例年と比べて低く、10～14歳の報告割合は33.9%と例年よりも高くなっている(図4)。

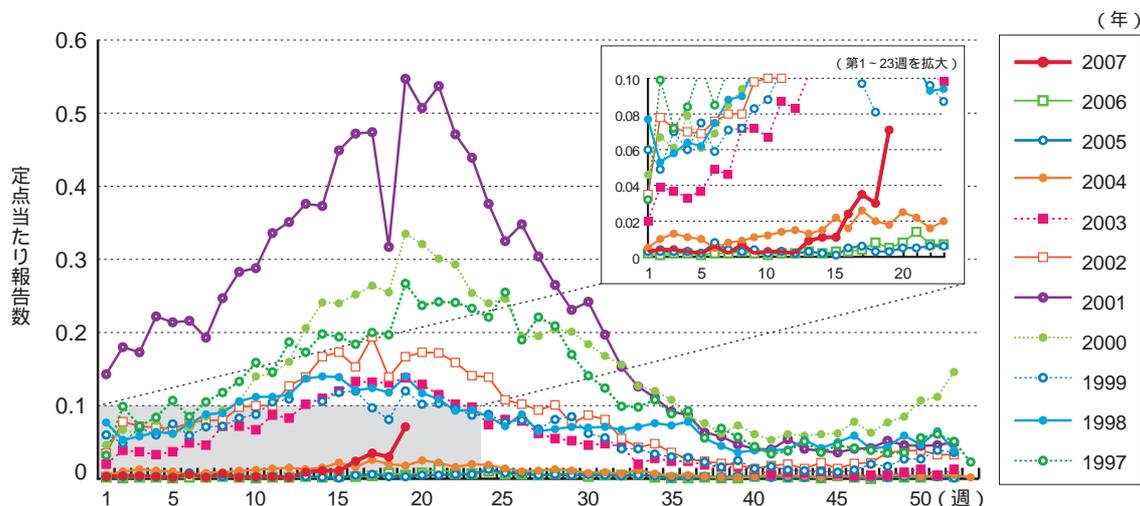


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第19週)

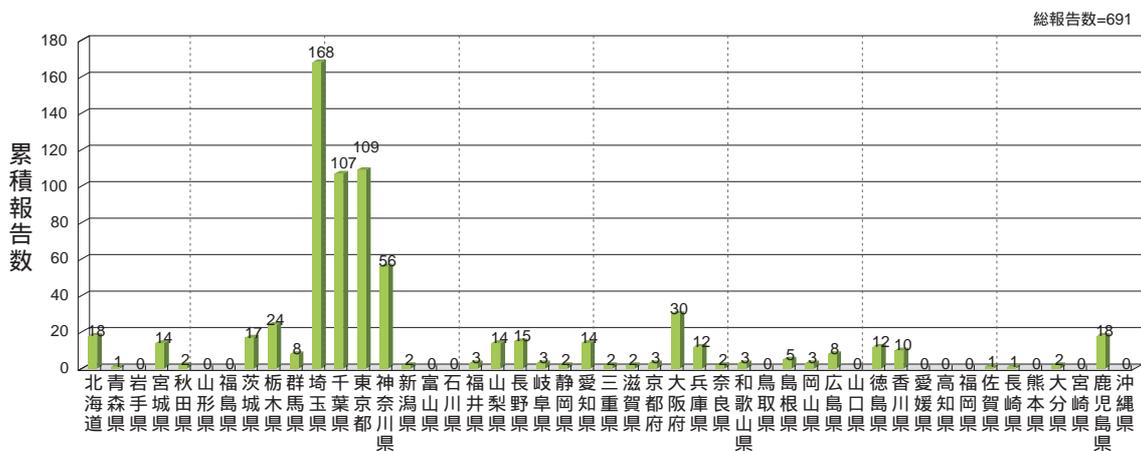


図2. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1～19週)

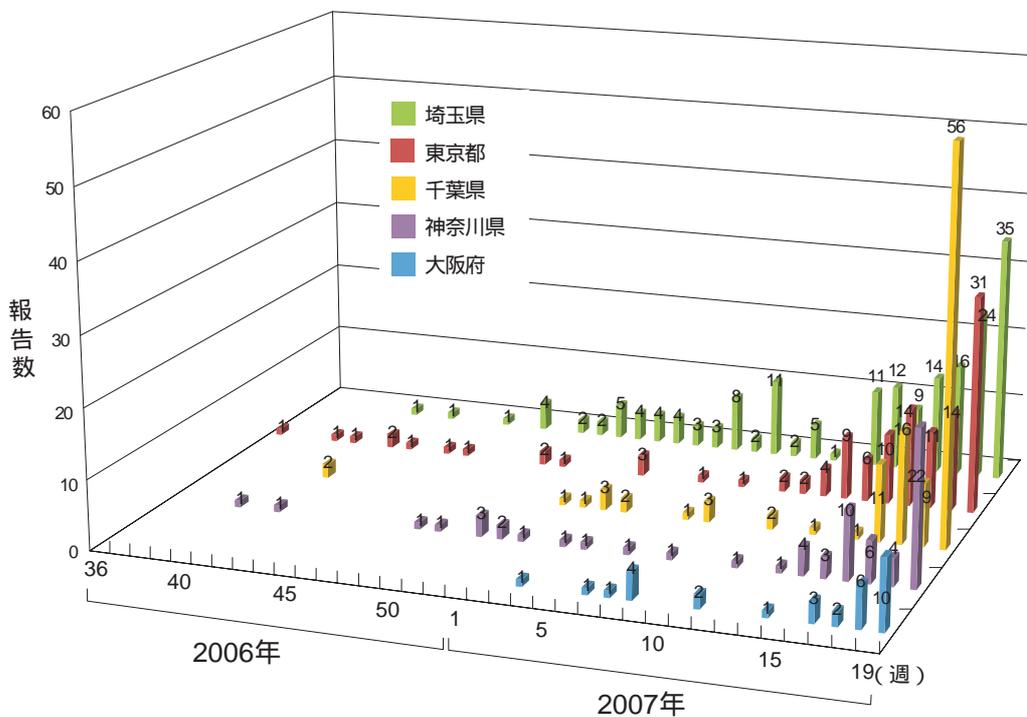


図3. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第19週)

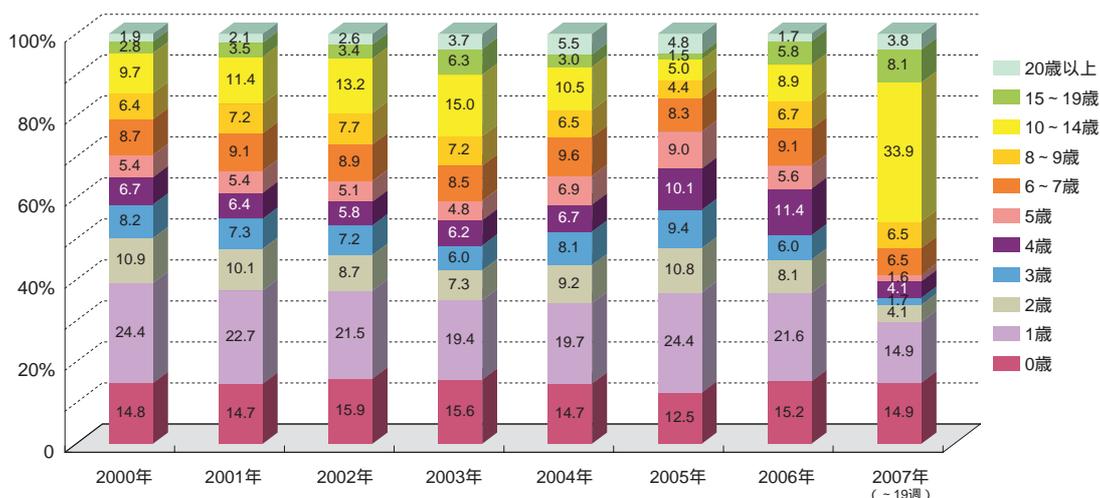


図4. 麻しんの報告症例の年別・年齢群別割合 (2000年～2007年第19週)

全国約450カ所の基幹定点からの成人麻しん(届出対象は15歳以上)の第19週の報告数は53例(定点当たり報告数0.117)と前週の25例(定点当たり報告数0.055)よりも大幅に増加した(図5)。都道府県別では東京都19例、宮城県6例、埼玉県、千葉県、島根県から各4例、北海道、山梨県から各3例、山形県、神奈川県から各2例、茨城県、富山県、石川県、兵庫県、和歌山県、大分県から各1例の順であり、東京都は第15週以降増加が続いている(図6)。2007年第1～19週までの累積報告数は208例であり、都道府県別では東京都90例、神奈川県21例、埼玉県16例、宮城県15例、長野県10例、群馬県7例、茨城県6例の順となっている。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の南関東地域からの累積報告数は132例と全体の60%を超えているが、他地域からの報告数も増加傾向にある(図7)。累積報告数の年齢別割合では、20～24歳(36.5%)、15～19歳(24.0%)、25～29歳(21.2%)、30～34歳(11.5%)の順であり、29歳以下で全報告数の80%を超えている(図8)。

全国の衛生研究所における麻しんウイルスの分離・検出状況をみると、2006年はD5型を中心にA型、H1型も報告されているが、2007年は5月22日現在山形県、茨城県、神奈川県、大阪府、島根県から21件の報告があり、そのうちウイルスの遺伝子型別が実施された16検体は全てD5型であった(感染症情報センターホームページ「麻疹ウイルス分離・検出状況 2007年」: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>)。

第19週(5月7日～13日)に入り、小児科定点からの麻しんの報告数、基幹定点からの成人麻しんの報告数は共に大幅な増加がみられている。埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、南関東地域における成人麻しんを含めた麻しんの報告数は増加しており、同地域における麻しんの流行は拡大傾向が続いている。また、同地域の周辺の地域での患者発生数の増加のみならず、周辺以外の北海道、宮城県、大阪府、鹿児島県等の地域においても患者報告数の増加がみられており、流行は全国に拡大してきていると考えられる。麻しんは春から夏にかけて流行する感染症であるといわれているが、その流行のピークは日本では5月中となることが多い。すなわちこれまでの感染症発生動向調査によると、流行時の患者発生報告数のピークは小児科

定点からの麻しんの報告数は第19週前後となることが多く、基幹定点からの成人麻しんでは同様に第20週前後となることが多い(図1、図5)。従って麻しんの流行は、現在そのピークにさしかかりつつある可能性が考慮されるが、その流行は南関東地域とその周辺からさらに広域に拡大しつつあり、発生動向の推移には今後とも十分な注意が必要である。

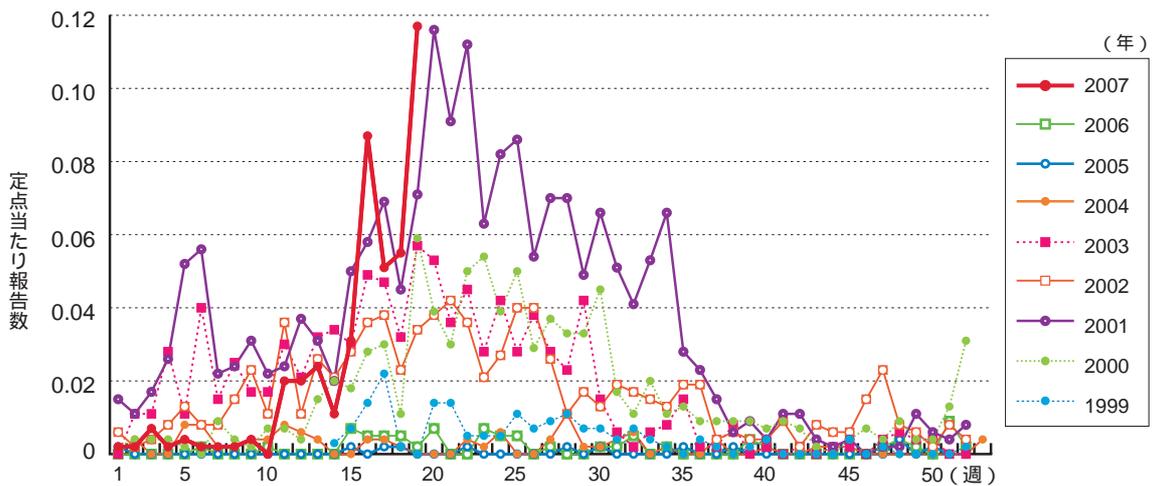


図5. 成人麻しんの年別・週別発生状況(1999年～2007年第19週)

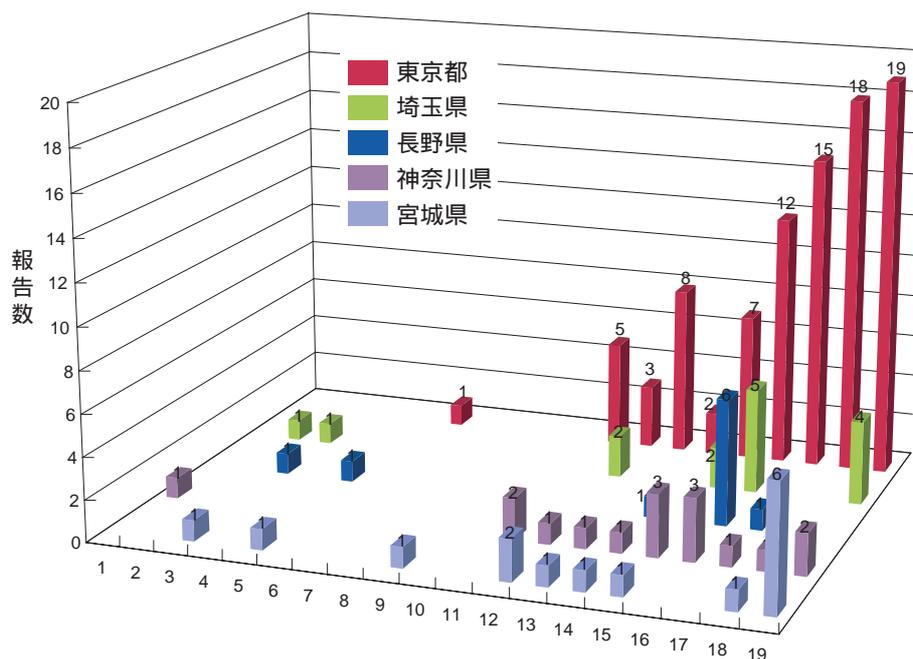


図6. 主要都道府県における成人麻しんの報告の週別推移(2007年第1～19週)

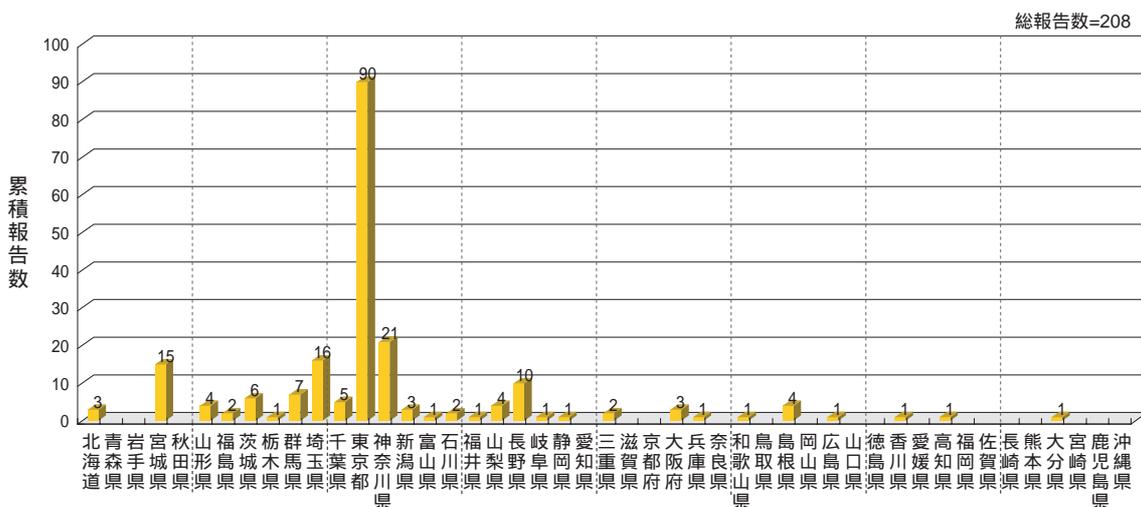


図7. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1 ~ 19週)

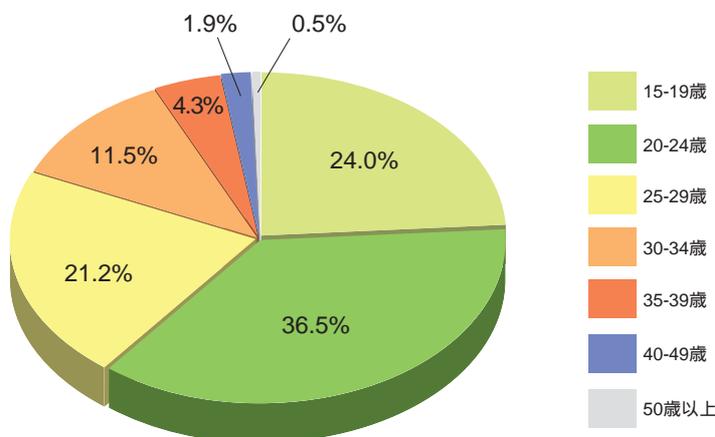


図8. 成人麻しんの報告症例の年齢群別割合(2007年第1 ~ 19週)

欧米諸国をはじめとする多くの国々では、麻しんは既に『排除』が達成された疾患であり、我が国においても2001年のような多数の乳幼児が感染発病した大規模な流行を2度と繰り返すべきではない。また、日本を含めたWHO西太平洋地域(WPRO)は2012年までに域内からの『排除』を目標としている。そのためには、今後とも日本国内における地域的な流行は積極的に阻止されなければならない。学校、施設等においては1例でも麻しん患者が発生した場合に迅速かつ適切な対応を実施することが望まれる。加えて、現在の流行下においては麻疹ワクチン未接種で麻しん未罹患の方は、至急ワクチンを接種することが勧められる。また、従来の麻しん流行の中心である乳幼児における患者発生を増大を阻止するために、1歳早期(1回目)と小学校入学前1年間(2回目)のワクチン(麻疹・風疹混合ワクチンもしくは麻疹ワクチン)のより積極的な勧奨が重要である。

以下に、麻疹関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻疹対策として活用いただければ幸いです。

麻疹(はしか): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

緊急情報

関連情報(注目すべき感染症/速報「麻疹」、医療機関での麻疹の対応について、保育園・幼稚園・学校等での麻疹患者発生時の対応マニュアル)

国内情報(麻疹の現状と今後の麻疹対策について、我が国の健常人における麻疹PA抗体保有率、病原微生物検出情報 [IASR] 麻疹特集、他)

麻疹発生DB(データベース): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>

予防接種の話「麻疹」: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>

年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html>

感染症の話「麻疹」: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html

「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの？」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html>

「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>

「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを！」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>

2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査 - 2006年10月1日現在中間評

価 - : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3252.html>



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

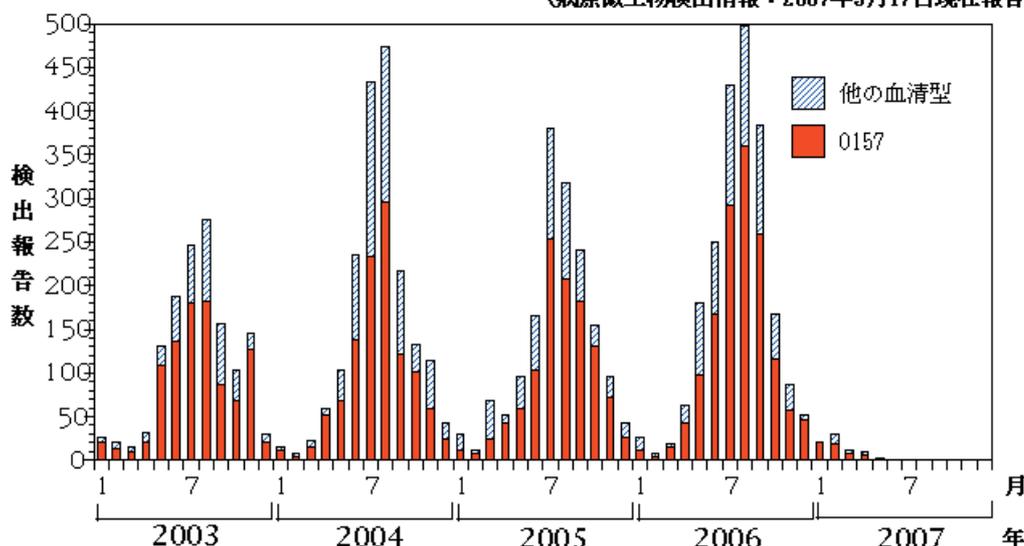
(2007年5月17日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年

毎年7～8月をピークに報告が増加しており、2006年の検出総数(2,159件)は2003年(1,368件)、2004年(1,857件)、2005年(1,656件)に比べ多かった。

Vero毒素産生性大腸菌 (O157&その他) 月別分離報告数、2003～2007年

(病原微生物検出情報：2007年5月17日現在報告数)



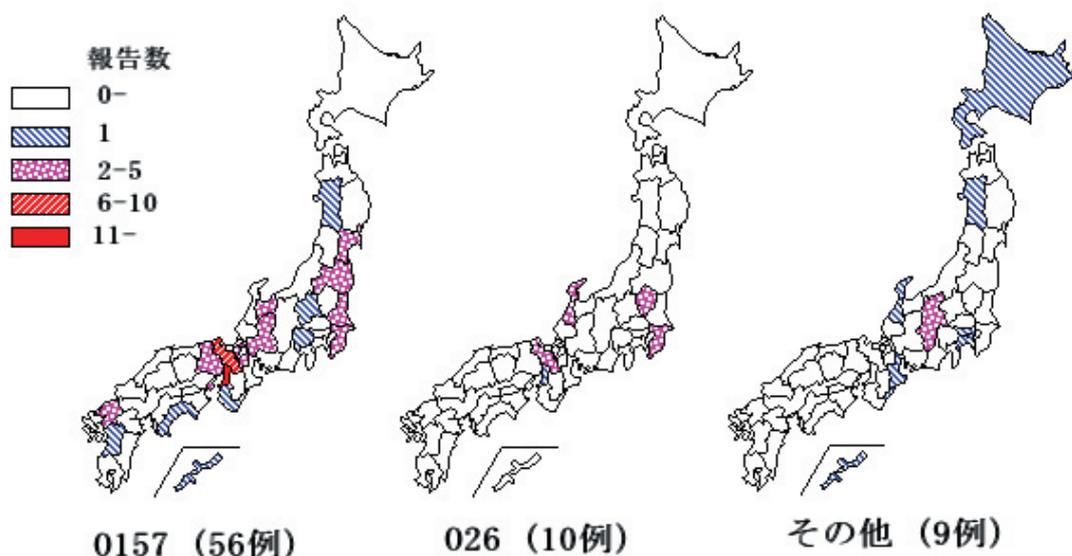
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

2007年の検出総数は75件で、O157が56件、O26が10件、その他の血清型が9件報告されている。O157は大阪府18件、京都府7件、宮城県5件、茨城県、富山県、滋賀県各3件、福島県、千葉県、岐阜県、兵庫県、福岡県各2件など18府県から、O26は千葉県3件、栃木県、石川県、京都府各2件など5府県から、その他の血清型は長野県2件など8都道県から報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2007年
(病原微生物検出情報：2007年5月17日現在報告数)



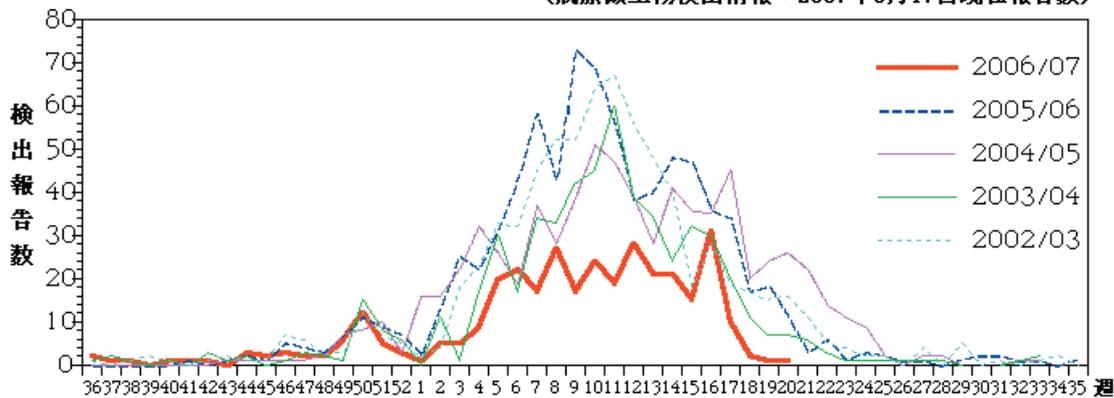
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

A群ロタウイルスは毎年冬季から春季に報告が増加しており、2006年第36週からの累計では愛媛県37件、千葉県27件、愛知県26件、奈良県25件、東京都24件、京都府23件、神奈川県20件、高知県19件、静岡県16件、新潟県12件、三重県11件など31都府県から333件が報告されている。このうち69件はG血清型別まで実施されている(G3が25件、G9が22件、G1とG2が各11件)。また、愛媛県から第16週にC群ロタウイルス1件が報告されている。

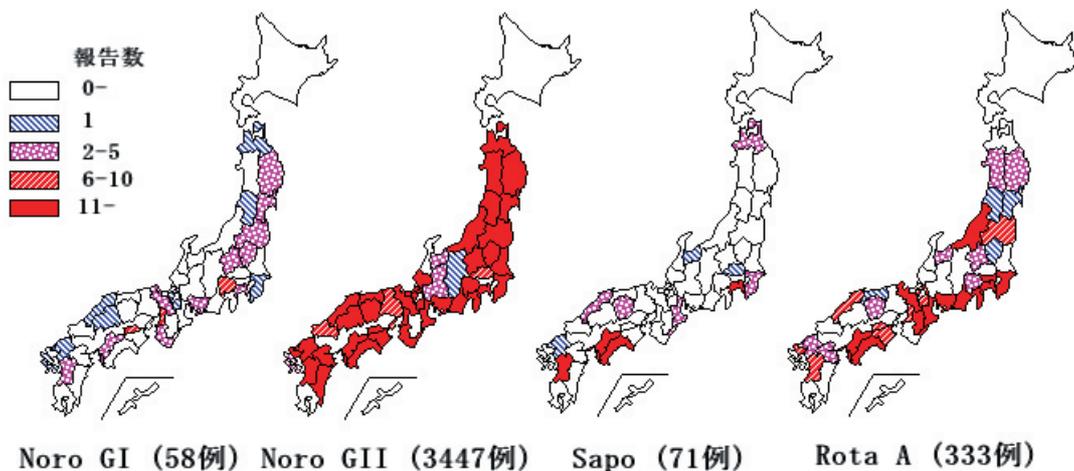
週別ロタウイルスの検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年5月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を因に示した。



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年5月17日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した



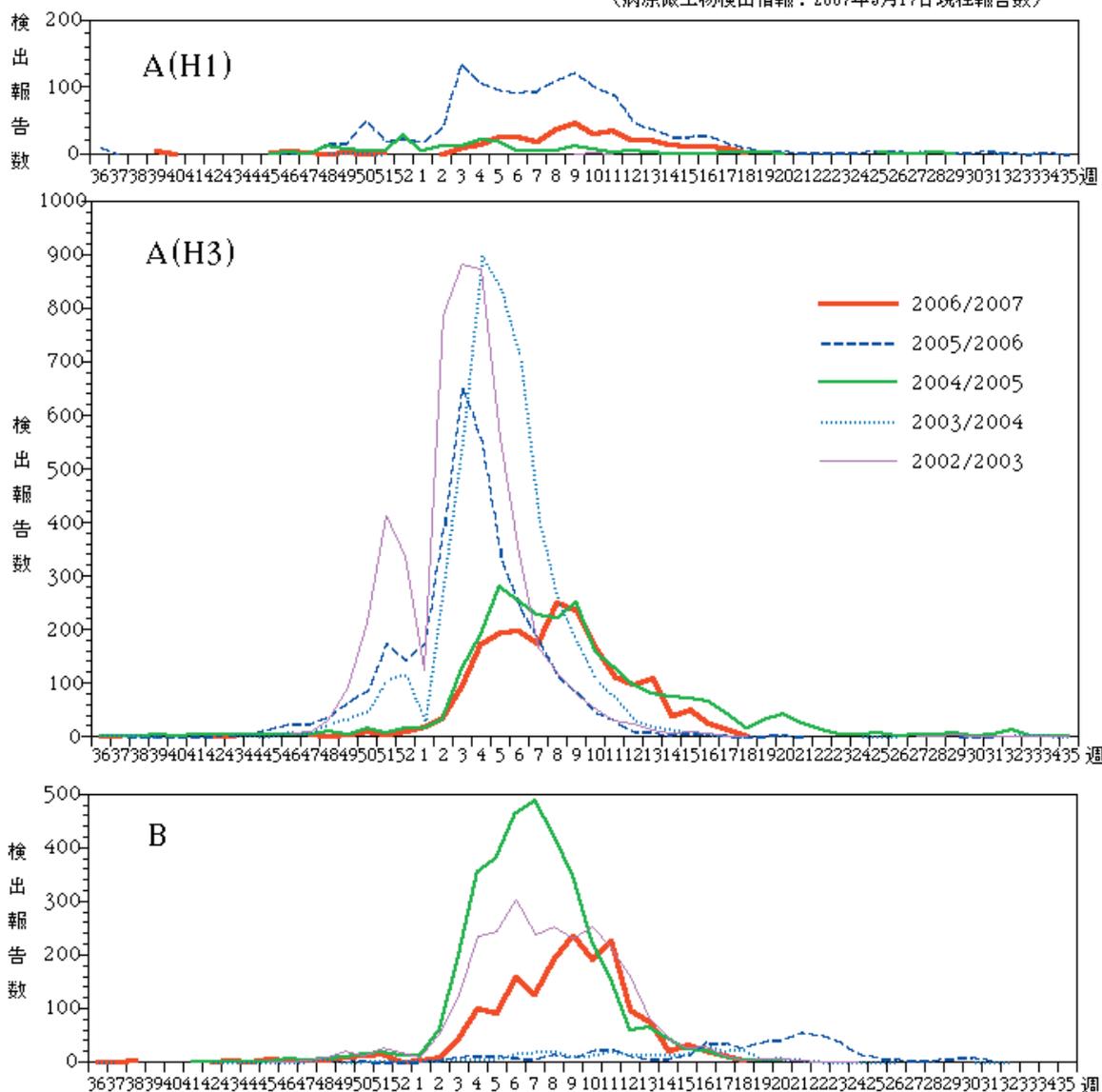
ノロウイルスの報告は例年より早く2006年第40週より大きく増加した。第36週から2007年第19週までの累計ではノロウイルスgenogroup IIが3,447件となり、2005/06シーズン同期間の報告数(2,420件)を上回っている。その他にgenogroup I 58件、サポウイルス71件が報告されている。

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降B型とAH1亜型も増加した。AH3型とAH1型は第10週以降、B型は第12週以降減少している。

型別週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、過去4シーズンとの比較

(病原微生物検出情報：2007年5月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



2006年第36週からの累計ではAH1亜型が35都道府県から346件、AH3亜型が44都道府県から2,011件、B型が45都道府県から1,689件報告されている (PCR/抗原検出によるAH1亜型4件、AH3亜型23件、B型16件を含む)。



オウム病 1999年4月 ~ 2007年第13週

(2007年5月17日現在)

オウム病は、オウム病クラミジア(*Chlamydophila psittaci*)を吸入し、1~2週間の潜伏期間を経て、突然の発熱、咳(通常は乾性)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの症状が出現する疾患である。ときに、肝脾腫や比較的徐脈(高熱のわりに脈拍が速くならない)が認められる。白血球増多のない肺炎でいわゆる異型肺炎(非定型肺炎)の病態を示す。高齢者や治療が遅れた場合などには重症化し、致命的となることもあるので注意が必要である。

オウム病の発生動向については、1999年4月の感染症法の施行以前は定点把握疾患の「異型肺炎」に含まれており、独立した疾患としての実態は不明であった。感染症法では全数把握疾患の4類感染症として、診断したすべての医師に届け出が義務づけられている。

1999年4月から2007年第13週までの約8年間に報告されたオウム病は277例であり、年別では1999年(4月 ~)23例、2000年18例、2001年35例、2002年54例、2003年44例、2004年40例、2005年34例、2006年23例、2007年6例(第13週は4月1日診断分まで)であった(図1)。2001~2005年の5年間は、集団発生を除き30~45例程度で推移していたが、2006年は23例と減少が見られた。この理由として届出基準変更の影響が考えられる。即ち、2006年3月以前の届出基準では、抗体の検出によるものとして「間接蛍光抗体法で抗体価が4倍以上など」とされており、補体結合反応(CF)検査による場合も届け出の対象に含んでいたが、2006年4月からの届出基準では「間接蛍光抗体法による抗体の検出(単一血清でIgM抗体の検出もしくはIgG抗体256倍以上、又はペア血清による抗体陽転もしくは抗体価の有意上昇)」に限定された。これは、CF検査が属共通抗原を用いて行われており、同様の症状を起こすクラミジア肺炎(*Chlamydophila pneumoniae* を病原体とする肺炎)でも上昇が認められ、オウム病の確定診断ができないためである。過去の報告からみても、従来臨床の現場においては、オウム病診断のための検査としてCF検査が多く用いられており、この変更によってある程度の報告数の減少を来たと考えられるものの、より正確なオウム病症例が報告されるようになったと言える。

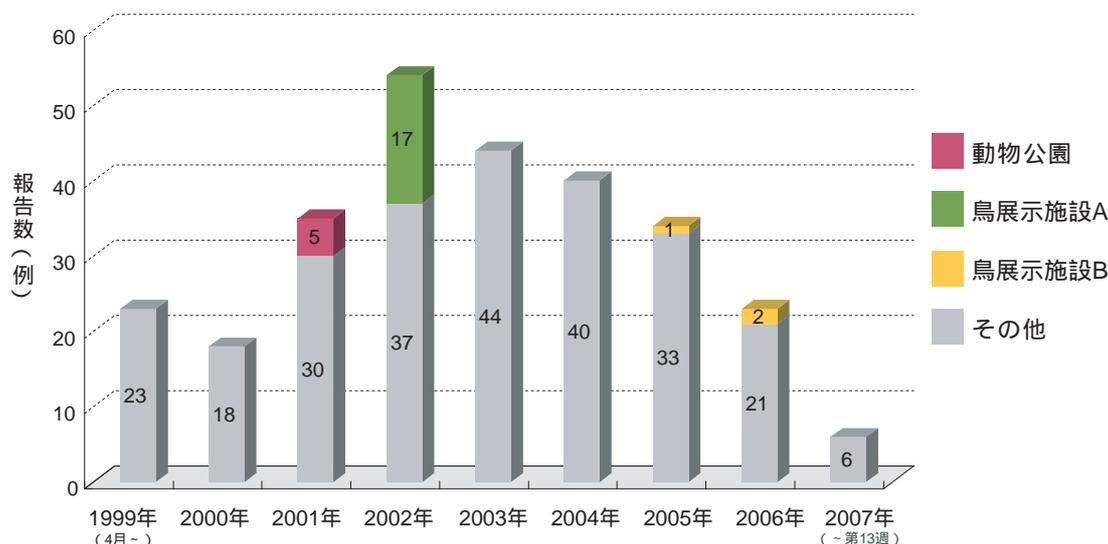


図1. オウム病の年別報告数(1999年4月 ~ 2007年第13週)

都道府県別では、特に大阪府33例、東京都30例、兵庫県19例、愛知県17例、神奈川県16例、広島県16例が多い。一方、1例も報告のない県は5県みられた(図2)。集団発生としては、家族内のものを除き2001年に動物公園(5例)(IASR Vol.23 No.10 p.6-7 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/272/dj2724.html>)、2002年に鳥展示施設(17例)(IASR Vol.23 No.10 p.3-4 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/272/dj2721.html>)、2005 ~ 06年に鳥展示施設(3例)があった(図1)。

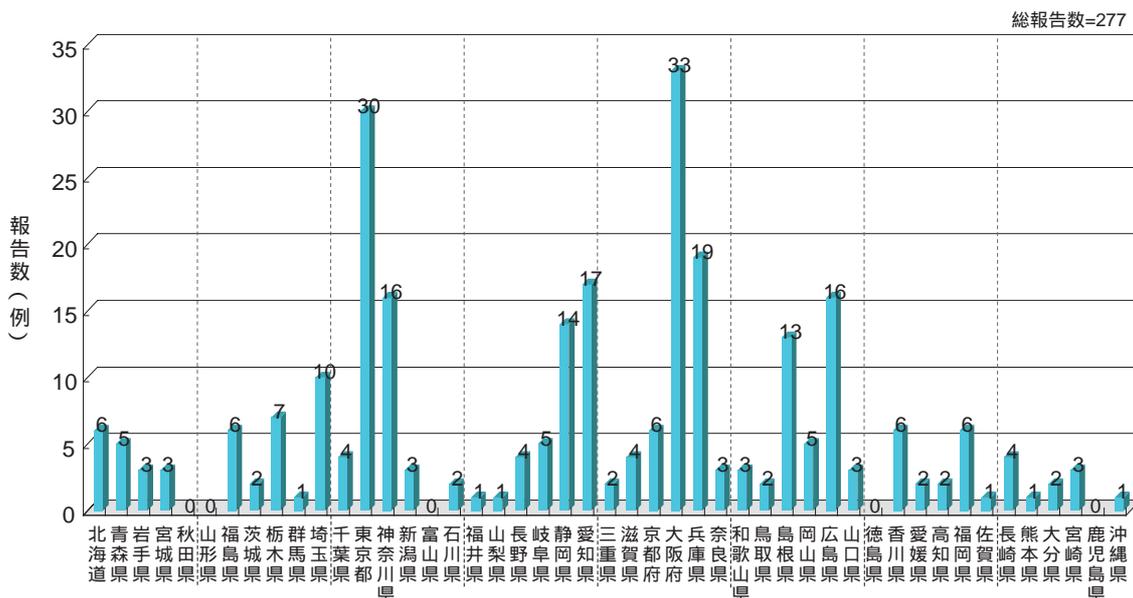


図2. オウム病の都道府県別報告状況(1999年4月 ~ 2007年第13週)

277例の性別は、男性124例、女性153例で、女性にやや多かった。年齢中央値は54歳(1 ~ 95歳)で、年齢群別では0 ~ 9歳2例、10 ~ 19歳11例、20 ~ 29歳19例、30 ~ 39歳38例、40 ~ 49歳46例、50 ~ 59歳61例、60 ~ 69歳57例、70 ~ 79歳37例、80 ~ 89歳4例、90歳以上2例と、50代をピークに幅広い年齢層にみられるが、30歳未満では少なく、30歳以上が全体のほぼ90%を占めていた。性別・年齢群別にみると、男性は年齢中央値が58歳(1 ~ 95歳)で60代をピークに50 ~ 60代が多いのに対し、女性は年齢中央値49歳(11 ~ 88歳)で30代をピークに30 ~ 50代に多く、女性の患者年齢がやや若かった(図3)。

発症日の記載があった255例について発症月をみると、1 ~ 6月、とくに4 ~ 5月が多かった(図4)。

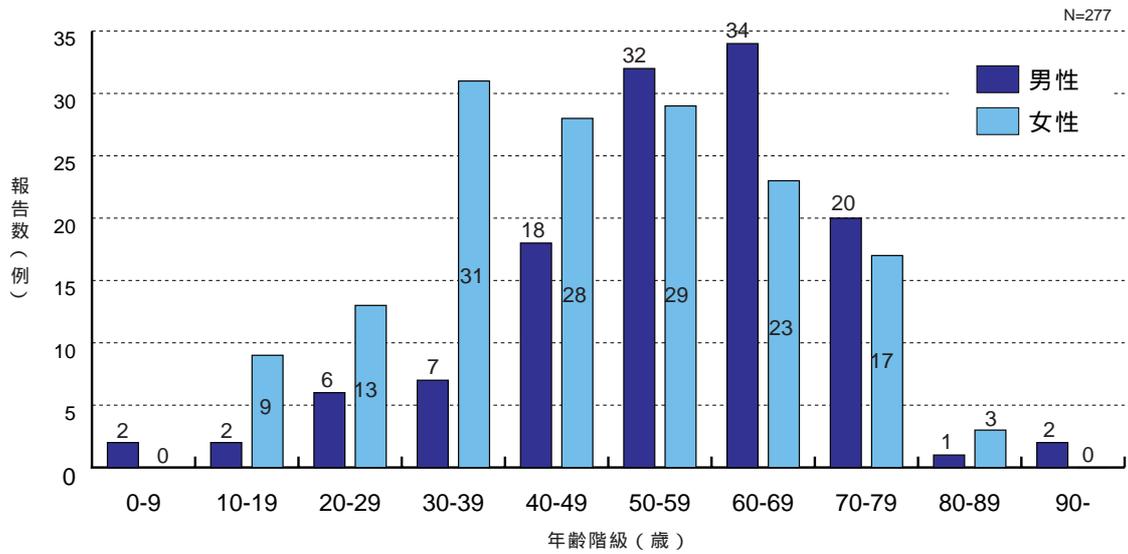


図3. オウム病の報告症例の性別・年齢群別報告数(1999年4月～2007年第13週)

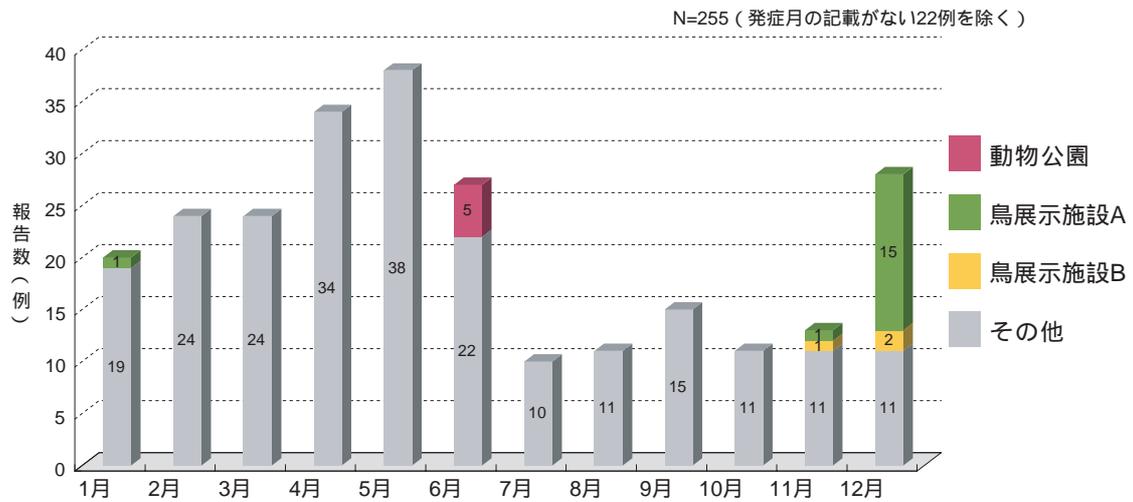


図4. オウム病の月別報告数(1999年4月～2007年第13週)

感染原因・感染経路に関して、動物等からの感染が確定または推定されると報告されたものは247例あった。動物等の種類としては、「ヘラジカ」および詳細不明を除く226例で鳥類が推定されていた。鳥類の種類については、インコと推定されたものが154例、ハトと推定されたものが30例、オウムと推定されたものが15例であった(複数の鳥類が推定された例数を重複して計上)(図5)。

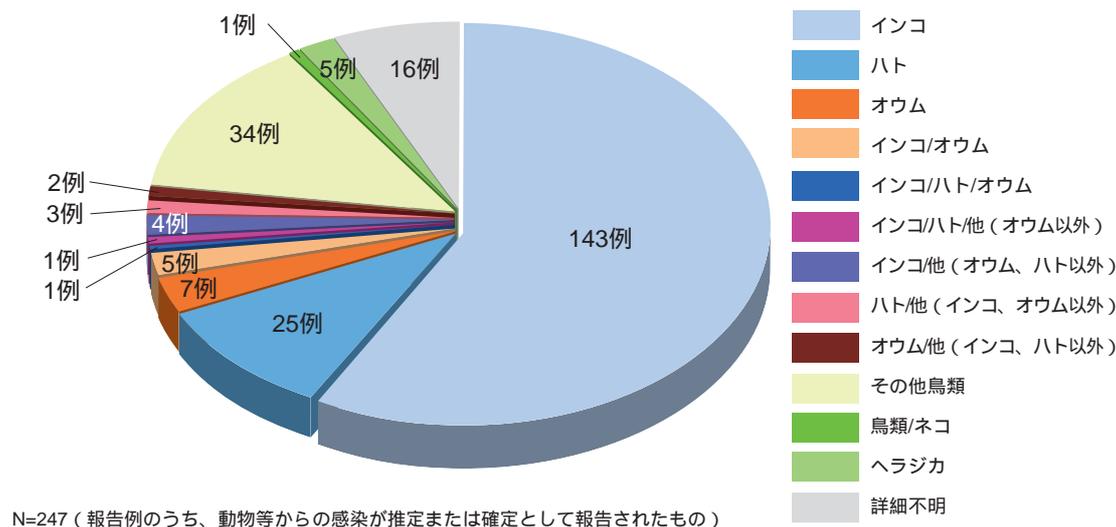


図5. オウム病の感染源(1999年4月 ~ 2007年第13週)

診断のための検査方法としては、277例うち病原体が検出された者は6例(病原体の分離1例、病原遺伝子の検出3例、詳細不明2例)のみで、ほとんどが血清抗体検査により診断されていた(表)。2006年3月までにCF検査のみで診断されたものは173例と、この期間の報告数254例の68%を占めていた。前述のようにCF検査はオウム病の診断のための検査としては勧められず、確定診断には、種の特定が可能な間接蛍光抗体法(micro-IF法など)による検査が必要である。届出基準が変更された2006年4月以降に報告された23例では、喀痰から病原体が分離された1例を除く22例が間接蛍光抗体法による血清抗体検査により診断されていた(IgM抗体の検出5例、IgG抗体256倍以上4例、ペア血清での抗体陽転または抗体価の有意上昇11例、IgM抗体の検出+ペア血清での抗体陽転または抗体価の有意上昇1例、IgG抗体256倍以上 + ペア血清での抗体陽転または抗体価の有意上昇1例)。Micro-IF法による検査は必要に応じて、一部の地方衛生研究所や国立感染症研究所、また一部の研究機関などに依頼することができる。

飼育鳥の衛生管理はトリにとって重要であるとともに、飼育にたずさわる人への感染予防としても基本である。乾燥した糞を吸入しないよう注意し、また口移して餌を与えないようにする。特に病鳥の扱いには注意が必要である。オウム病が強く疑われたり、臨床的にオウム病と診断された場合には、検査を施行し、速やかに適切な抗菌薬による治療を行うことが重要である。また同時に、医師の問診と保健所の調査等によって、感染源に関する情報(感染源の疑いのあるトリなどの状態、推定される感染場所や原因と考えられる行動など)を把握し、必要な場合には推定感染源からの病原体の検出や獣医師によるトリの治療を行うなどして、感染拡大防止ならびに今後の感染予防策に役立てることが重要である。

表. オウム病報告例の診断方法(1999年4月 ~ 2007年第13週)

N=277

		1999年4月 ~ 2006年3月	2006年4月 ~ 2007年第13週
病原体検出	病原体分離	0	1
	病原体遺伝子の検出	3*	0
	詳細不明	2*	0
	小計	5	1
血清抗体検出	CF	173	0
	CF+Micro-IF	5	0
	間接蛍光抗体法 (micro-IF/IF) **	20	22
	FA	1	0
	EIA	1	0
	CF+EIA	1	0
	CF+FA	1	0
	その他・詳細不明	44	0
	小計	246	22
詳細不明	3	0	

*うち各1例は血清抗体検出 (CF) もあり

**micro-IFかIFかの区別ができないため間接蛍光抗体法として一括して計上



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年5月16日 - 更新6

WHOは、2007年1月末から現在までにインドネシアで発生した新たなH5N1型鳥インフルエンザ感染患者15名(うち13名が死亡)を確認し、ヒト確定診断患者の一覧表を更新した。

H5N1型インフルエンザウイルス感染に対する検査は、多くの検査機関では日常的に実施されておらず、H5N1型ウイルスの検査を実施する検査機関についても、その経験や診断能力は、さまざまである。WHOは以前、インドネシア国内でのインフルエンザ検査結果については外部機関による確認検査を要求していたが、ジャカルタの国立検査機関におけるH5鳥インフルエンザウイルス診断能力に対する公式な現地評価の結果を受けて、今後はEijkman研究所と協力して、外部機関の診断確認なしに国立検査機関からの検査結果を受け入れる予定である。

この評価は、東京のWHO協力センター、インドとタイの国立インフルエンザセンター、WHO東南アジア地域事務局およびWHOインドネシア事務所のウイルス学者および実験室科学者からなるWHOチームによって行われた。

以下の新たなH5N1型鳥インフルエンザ感染患者が診断確定された。これらの患者のうち7名は、発病あるいは死亡した家禽への曝露があった。他の8名については、感染源が不明である。

性別	年齢	場所	発症日	入院日	経過
男性	30	西ジャワ	2007/1/25	2007/1/31	快復
女性	16	中央ジャカルタ	2007/1/31	2007/2/5	快復
女性	20	西ジャワ	2007/2/2	2007/2/9	2007/2/11 死亡
女性	20	東ジャワ	2007/2/28	2007/3/8	2007/3/19 死亡
男性	32	東ジャカルタ	2007/3/9	2007/3/13	2007/3/14 死亡
女性	22	南スマトラ	2007/3/10	2007/3/23	2007/3/24 死亡
男性	16	西ジャワ	2007/3/4	2007/3/24	2007/3/25 死亡
男性	39	東ジャワ	2007/3/19	2007/3/24	2007/3/28 死亡
男性	14	西スマトラ	2007/3/15	2007/3/22	2007/3/24 死亡
女性	29	ジャカルタ	2007/3/20	2007/3/23	2007/3/28 死亡
女性	23	ジャカルタ	2007/3/28	2007/3/31	2007/4/1 死亡
女性	15	ジャカルタ	2007/3/28	2007/3/30	2007/4/5 死亡
男性	29	中央ジャワ	2007/3/24	2007/3/30	2007/4/5 死亡
女性	29	リアウ諸島	2007/4/27	2007/4/28	2007/5/3 死亡
女性	26	北スマトラ	2007/5/3	2007/5/8	2007/5/12 死亡



感染症の話

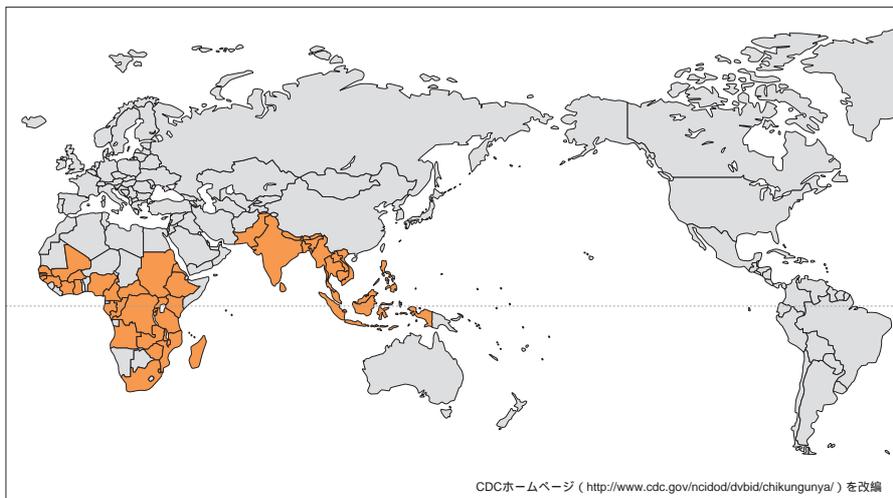
チクングニヤ熱

ネッタシマカやヒトスジシマカなどのヤブカによって媒介されるチクングニヤウイルスの感染症である。チクングニヤウイルスはトガウイルス科アルファウイルス属のウイルスである。通常は非致死性の発疹性熱性疾患である。

疫学

チクングニヤウイルス感染症がみられるのは、アフリカ、南アジア、東南アジアである(図1)。アフリカでは1952年に初めて流行が報告され、その後、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ、南アフリカ、セネガル、ナイジェリア、中央アフリカ、コンゴで流行し、近年アフリカ大陸ではコンゴのキンシャサで1999年から2000年にかけて5万人規模の流行が報告されている。アジアでは1958年にタイで流行が報告された後、カンボジア、ベトナム、ラオス、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、インドネシアで流行が報告されている。いままでに日本国内での感染、流行はないが、2006年12月に海外からの輸入症例2例が報告された。

チクングニヤ熱は、わが国では感染症法に規定されていない感染症である。



CDCホームページ (<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/chikungunya/>) を改題

図1. チクングニヤの報告症例の分布(1952-2006年)

< 最近の流行 >

2005年初頭にコモロ(Comoro) 諸島で流行が発生した。その後、チクングニヤウイルスはインド洋に位置する他の島国(モーリシャス: Mauritius、レユニオン: Reunion、セーシェル: Seychelles、マヨット: Mayotte) などに拡大し流行した。レユニオン島では、2005年の3月から2006年の2月までに15万人以上の患者が発生し、死者237人が報告された。この大流行の主要な媒介蚊は、日本にも生息するヒトスジシマカであった。2006年にはインドやスリランカでも流行をみており、香港、アメリカ、フランス、スイスなどでも輸入症例が報告されている。

病原体

チクングニヤウイルスは、トガウイルス科アルファウイルス属に分類されるRNAウイルスで、蚊によって媒介されるウイルスである。

チクングニヤウイルスは1952年のタンザニアでの流行で初めて分離され、以来アフリカやアジアでその流行が報告されている。その主たる媒介蚊はヤブカ属の蚊で、主としてネッタシマカやヒトスジシマカである。ウイルスは直径70nmのエンベロープを有する球状粒子である(図2)。ヒト蚊ヒトの感染環を形成し、森林ではサル蚊サルの感染環が存在するとされている。

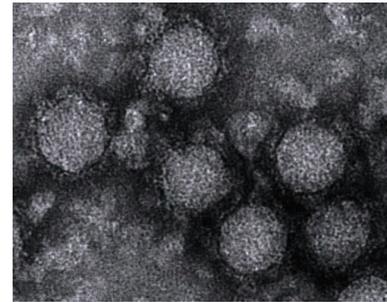


図2. チクングニヤウイルスの電子顕微鏡写真

臨床症状

症状を示す患者の大多数はチクングニヤ熱と呼ばれる急性熱性疾患の症状を呈する。発熱と関節痛は必発であり、発疹は8割程度に認められる。関節痛は四肢(遠位)に強く対称性で、その頻度は手首、足首、指趾 > 膝 > 肘 > 肩の順であり、関節の炎症や腫脹を伴う場合もある。関節痛は急性症状が軽快した後も、数週間から数ヶ月にわたって続く場合がある。その他の症状としては、全身倦怠・頭痛・筋肉痛・リンパ節腫脹である。また出血傾向(鼻出血や歯肉出血)、結膜炎や悪心・嘔吐をきたすこともある。また、重症例では神経症状(脳症)や劇症肝炎が報告されている。

病原診断

病原体診断では、血清中のRT-PCR法によるウイルス遺伝子の検出および蚊由来C6/36細胞やアフリカミドリザル由来のVero細胞によりウイルス分離を行う。神経症状を呈した場合は、髄液からもウイルス分離や遺伝子検出を実施する。

血清診断ではIgM捕捉ELISAによるIgM抗体の検出を行う。急性期に比べ回復期における特異中和抗体価上昇によっても診断可能である。チクングニヤウイルスに感染したVero細胞は、4日程度で明瞭なプラークを形成する(図3)ので、プラーク減少法による中和抗体測定は比較的迅速に測定できる。



図3. Vero細胞で形成されたチクングニヤウイルスのプラーク

治療・予防

通常のチクングニヤ熱の場合には、輸液や鎮痛解熱剤投与など対症療法を実施する。ただし、出血傾向を呈する場合もあるのでデング熱に準じて鎮痛解熱剤として出血傾向やアシドーシスを助長するサリチル酸系のものは避け、アセトアミノフェンが望ましい。

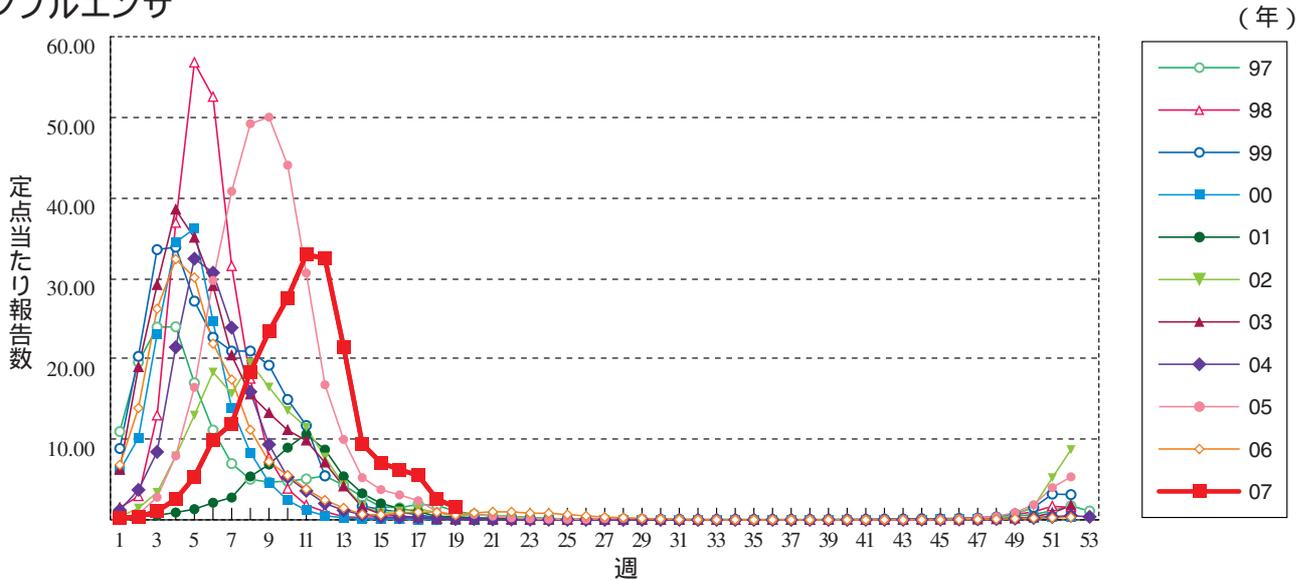
予防に関しては、日中に蚊に刺されない工夫が重要である。具体的には、長袖・長ズボンの着用、昆虫忌避剤の使用などである。

(ウイルス第一部 第2室 高崎智彦 <http://www.nih.go.jp/vir1/NVL/NVL.html>)

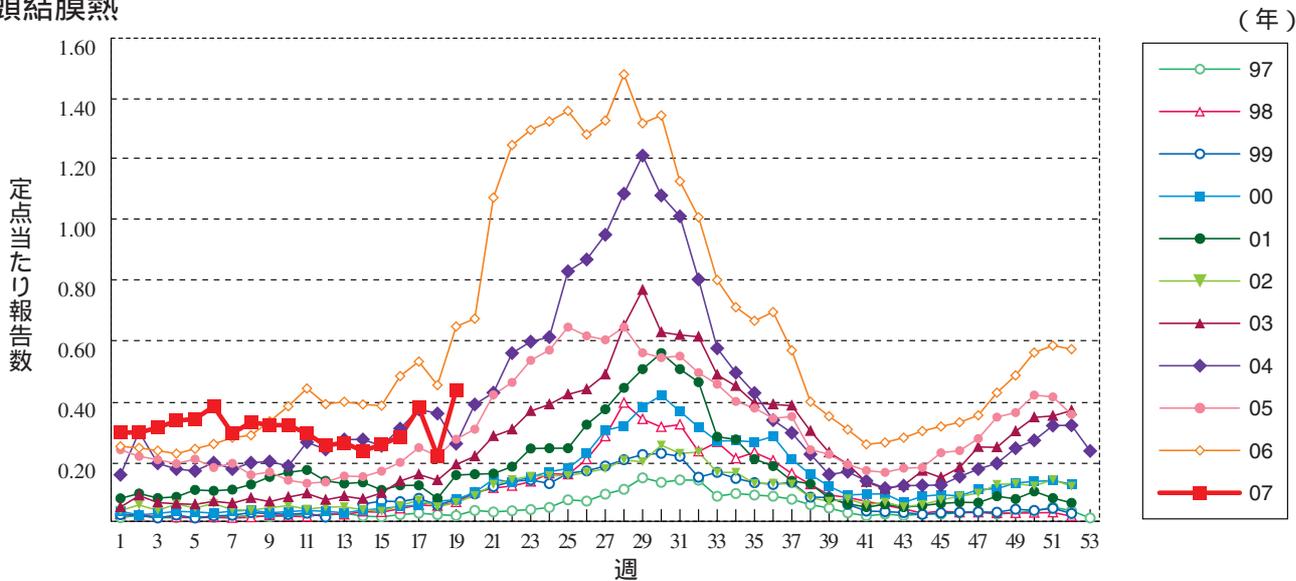


グラフ総覧(19週)

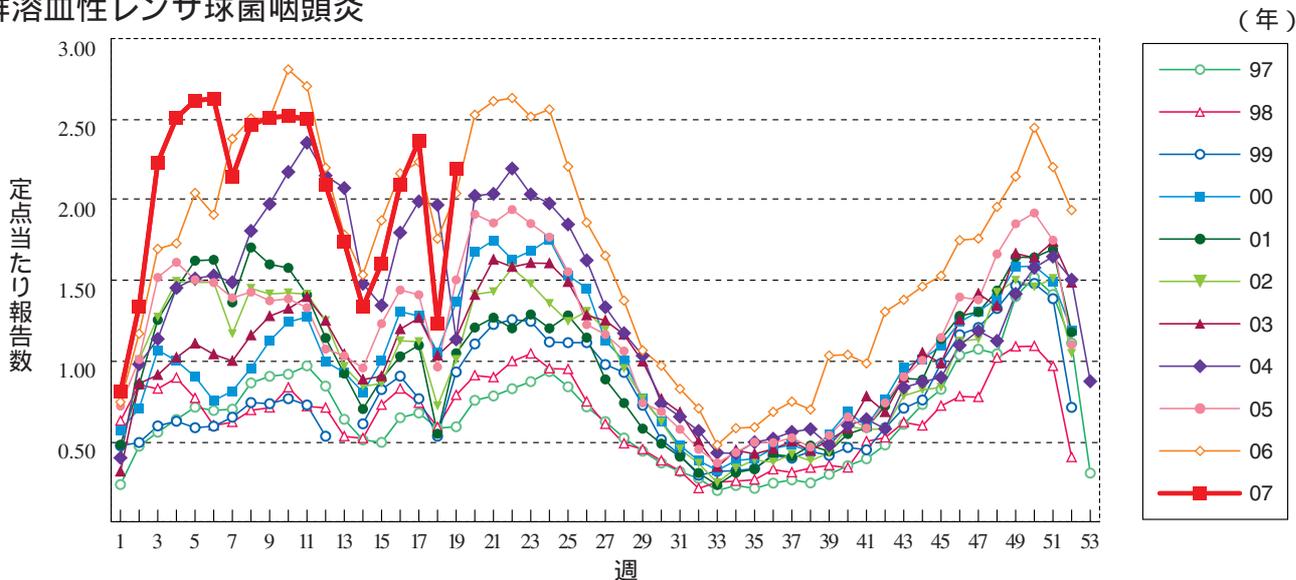
インフルエンザ



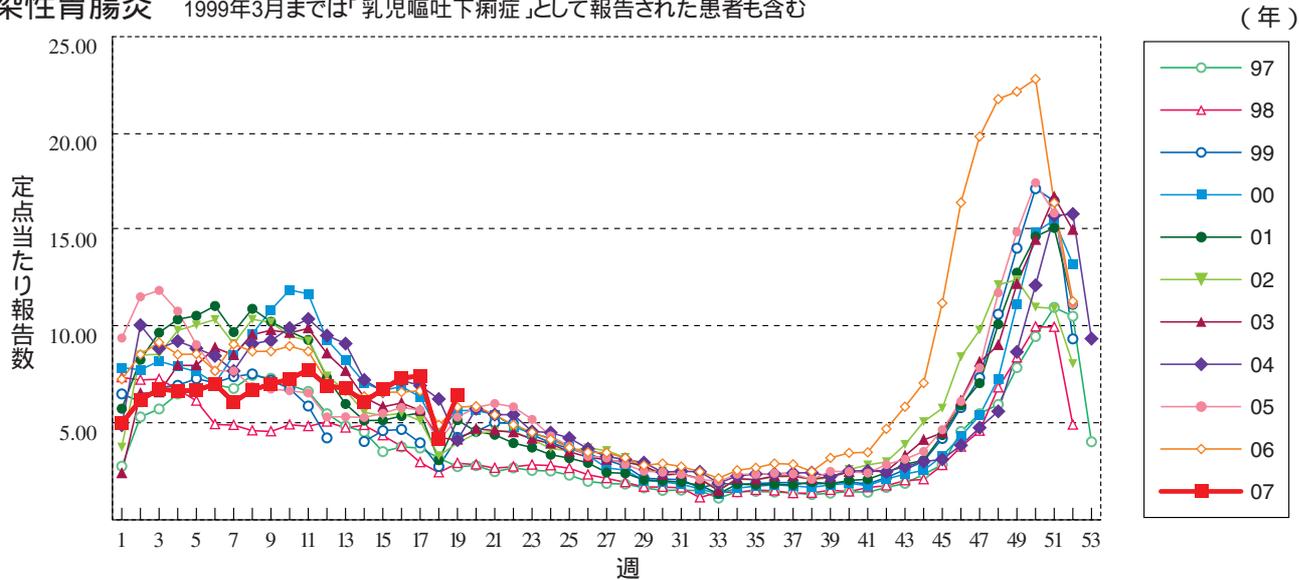
咽頭結膜熱



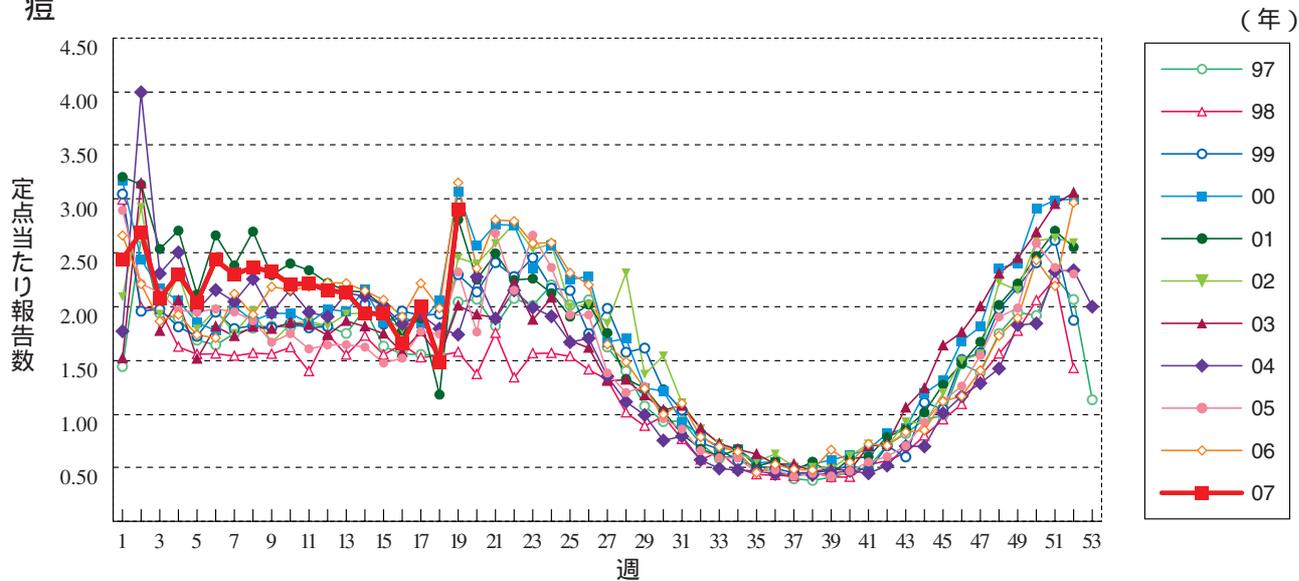
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



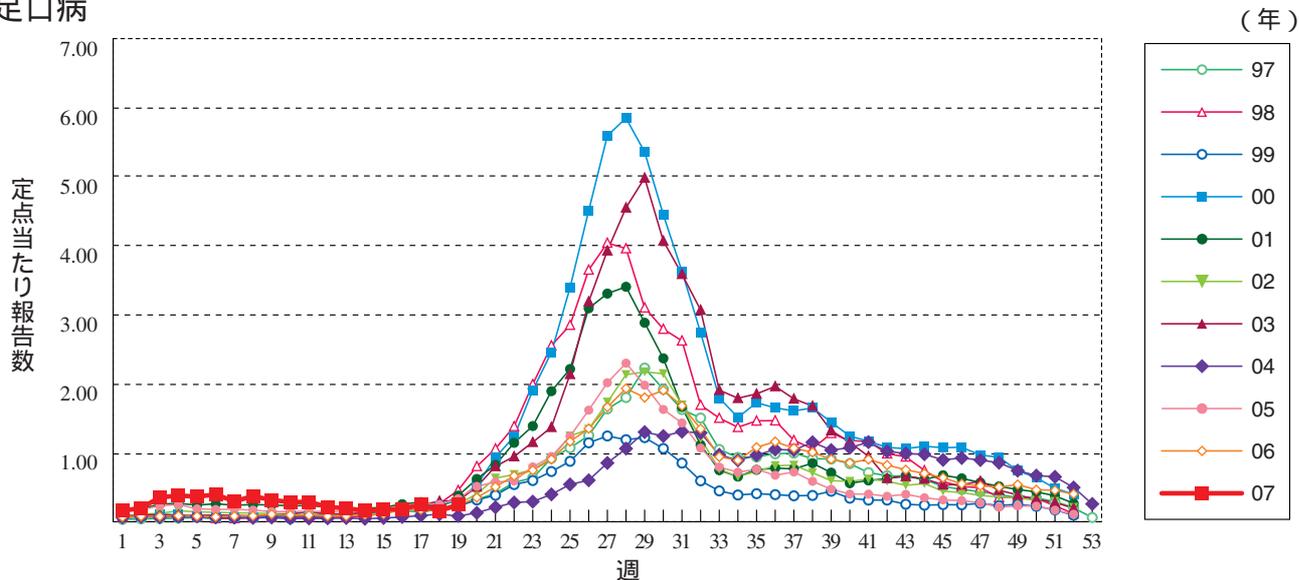
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



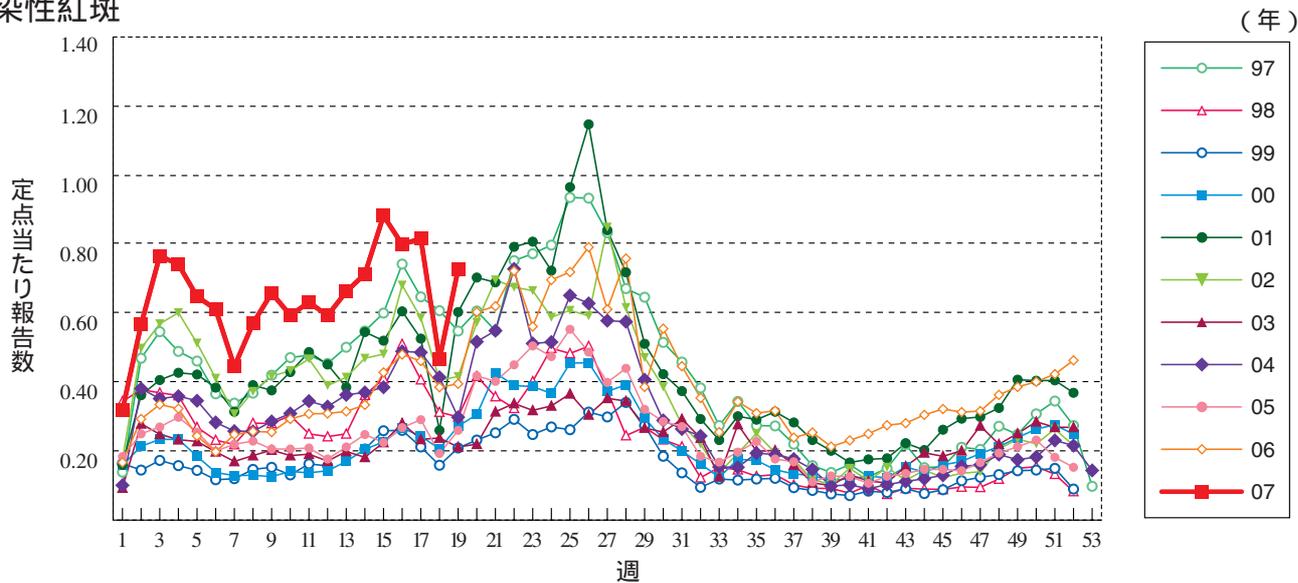
水痘



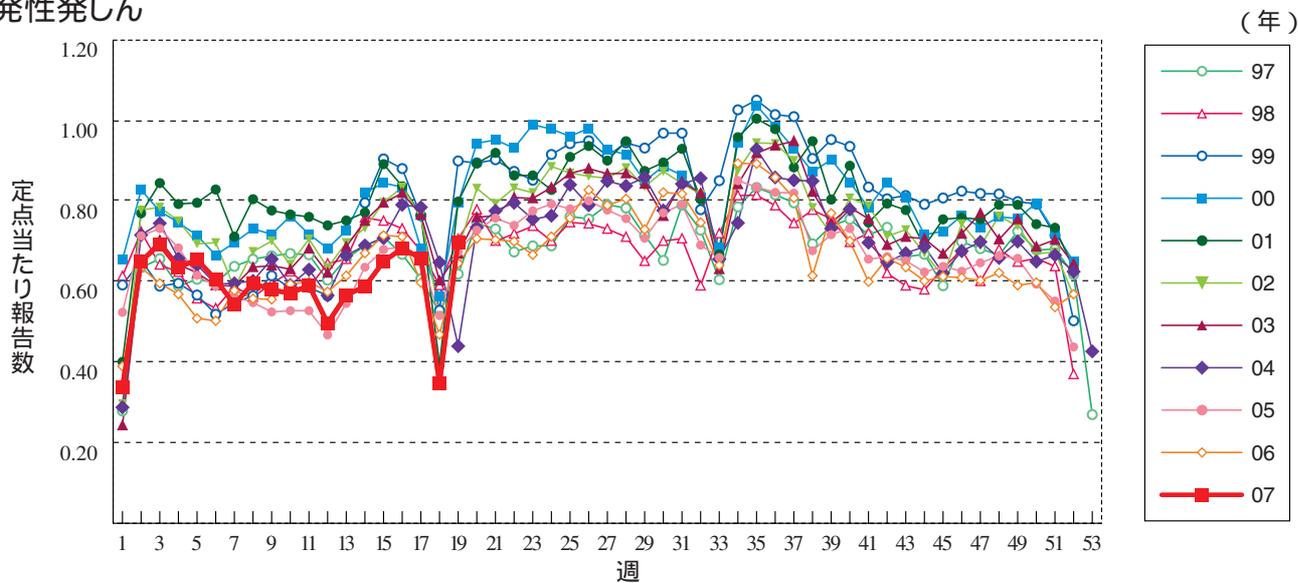
手足口病



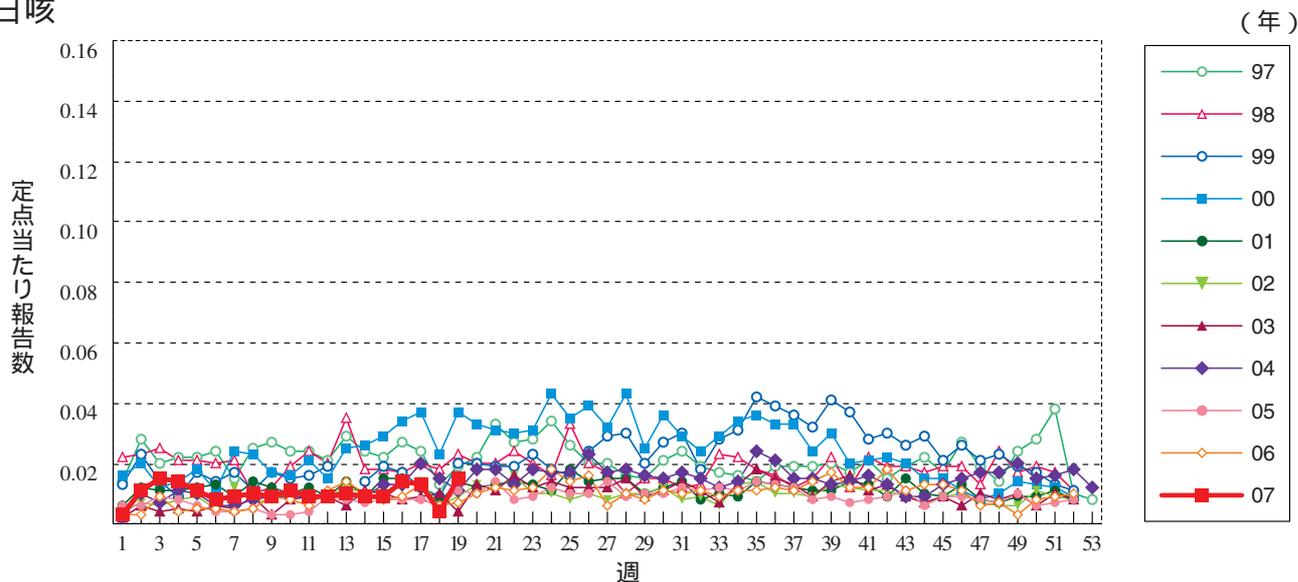
伝染性紅斑



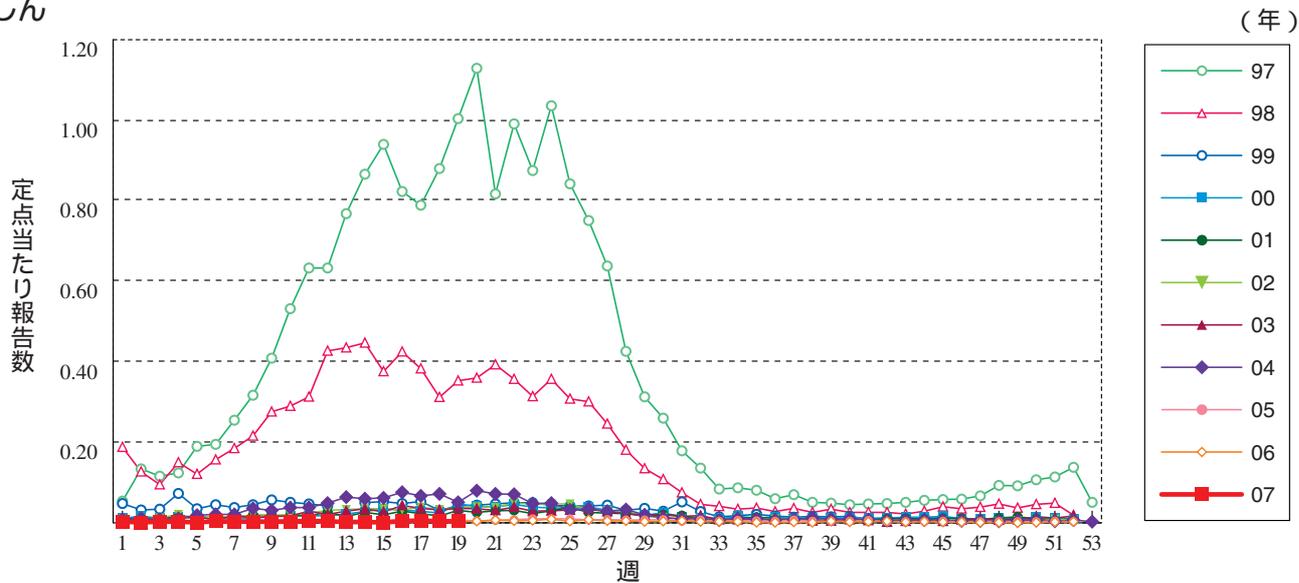
突発性発しん



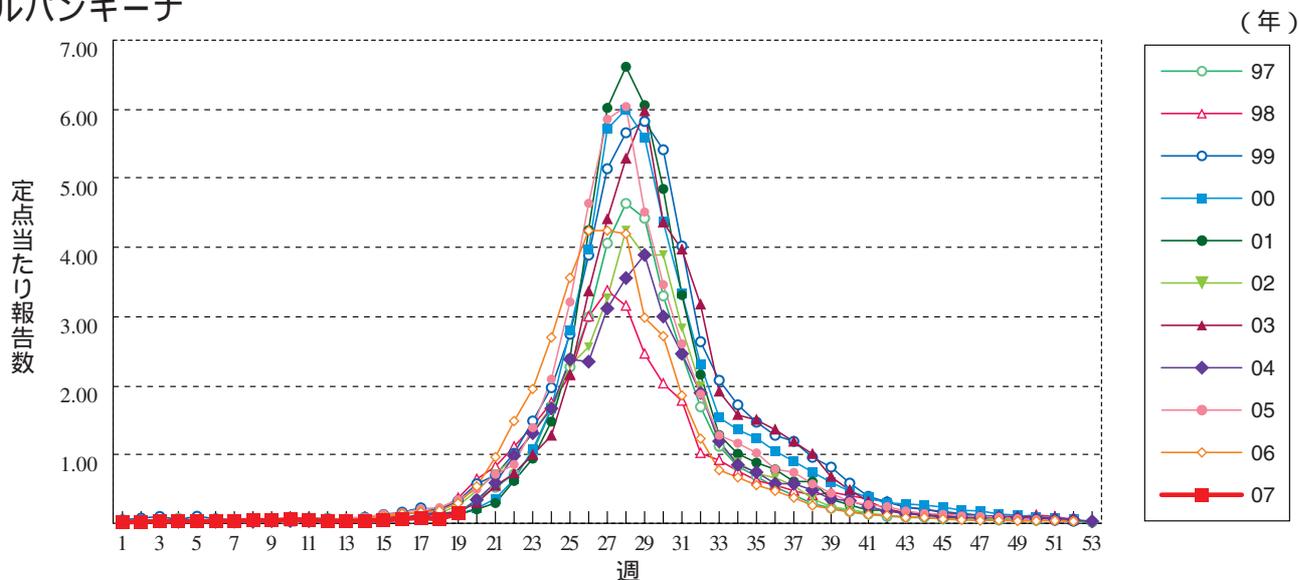
百日咳



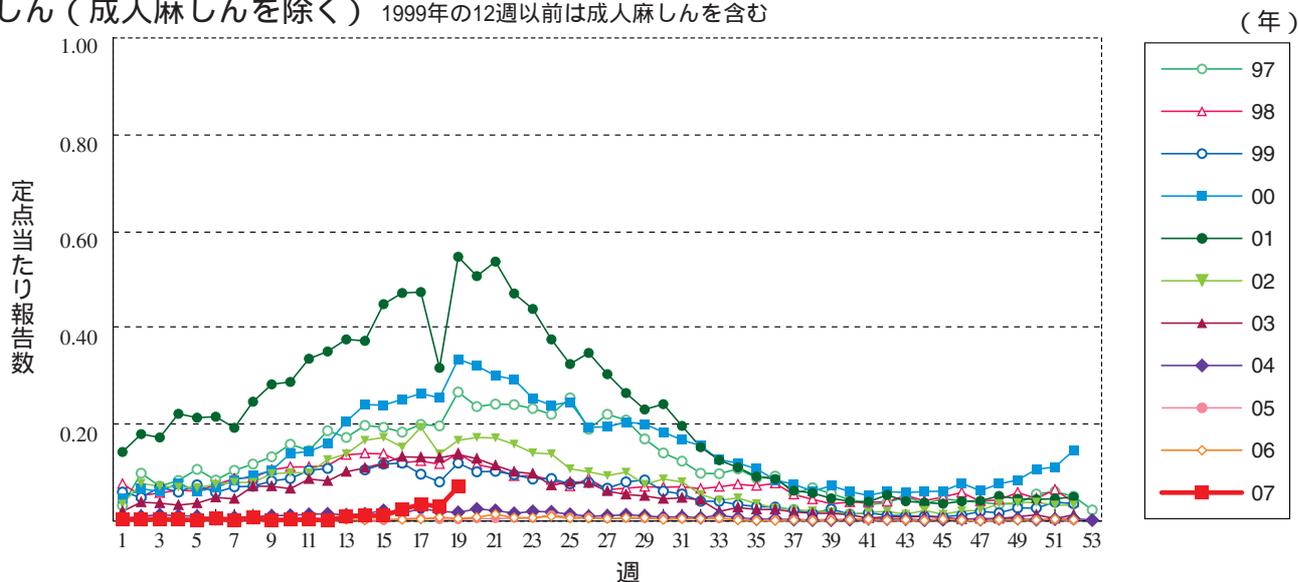
風しん



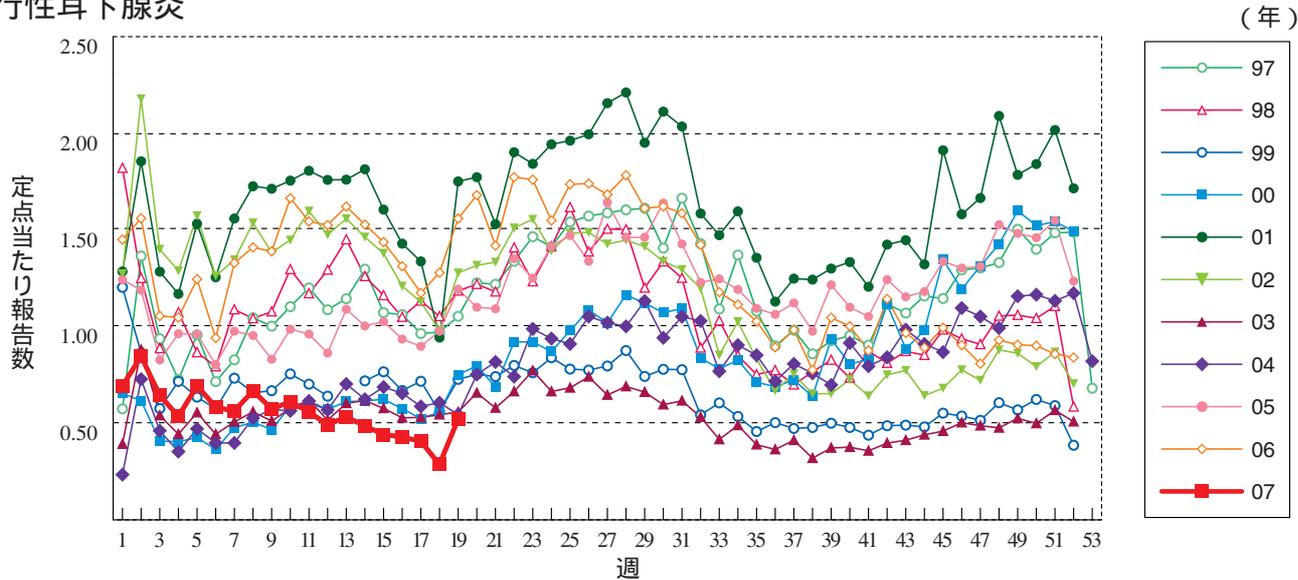
ヘルパンギーナ



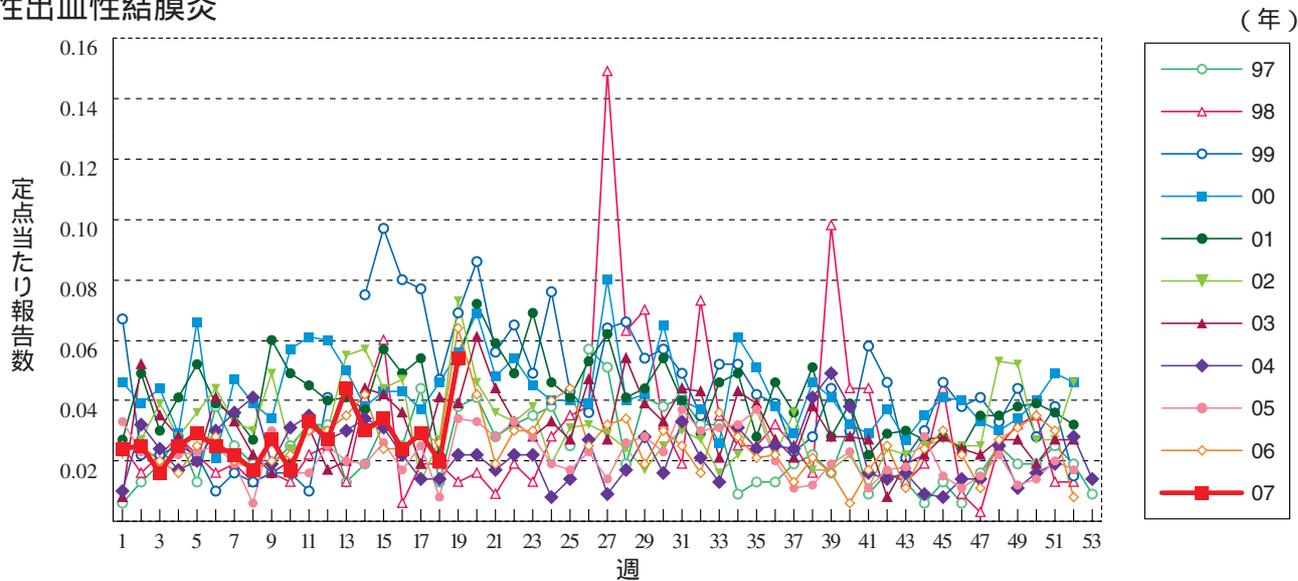
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



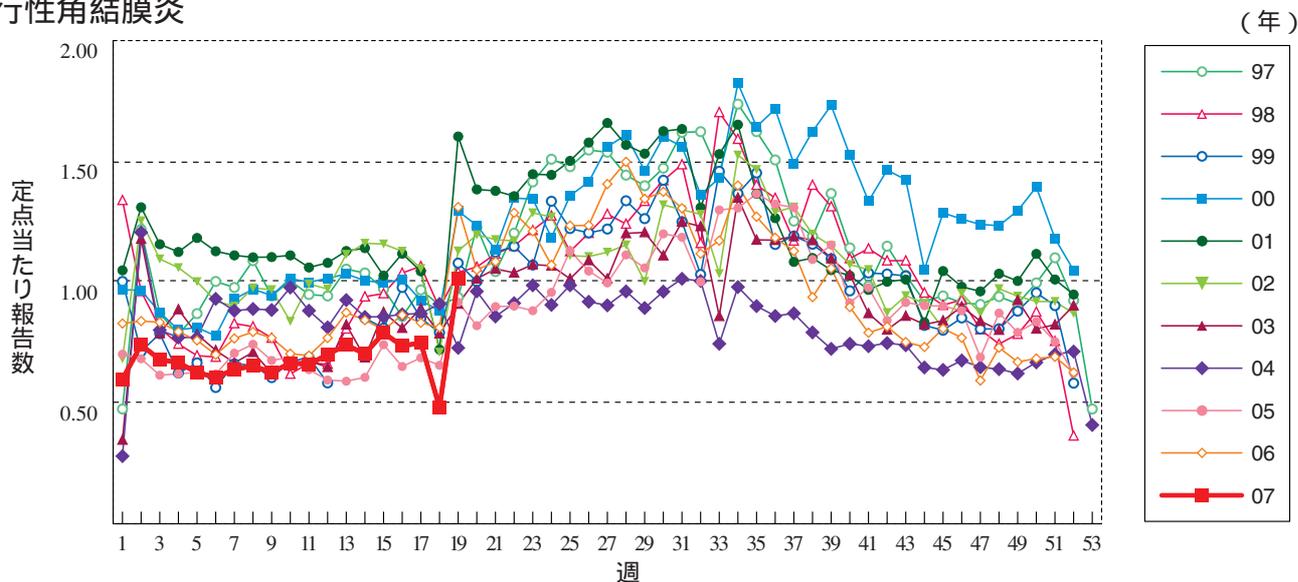
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

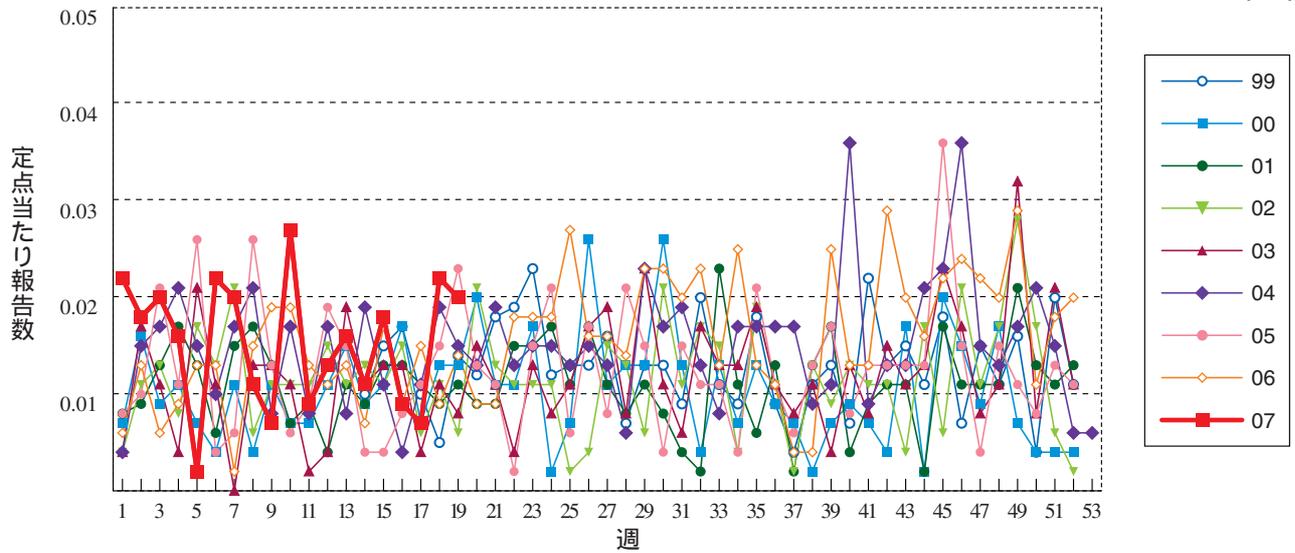


流行性角結膜炎



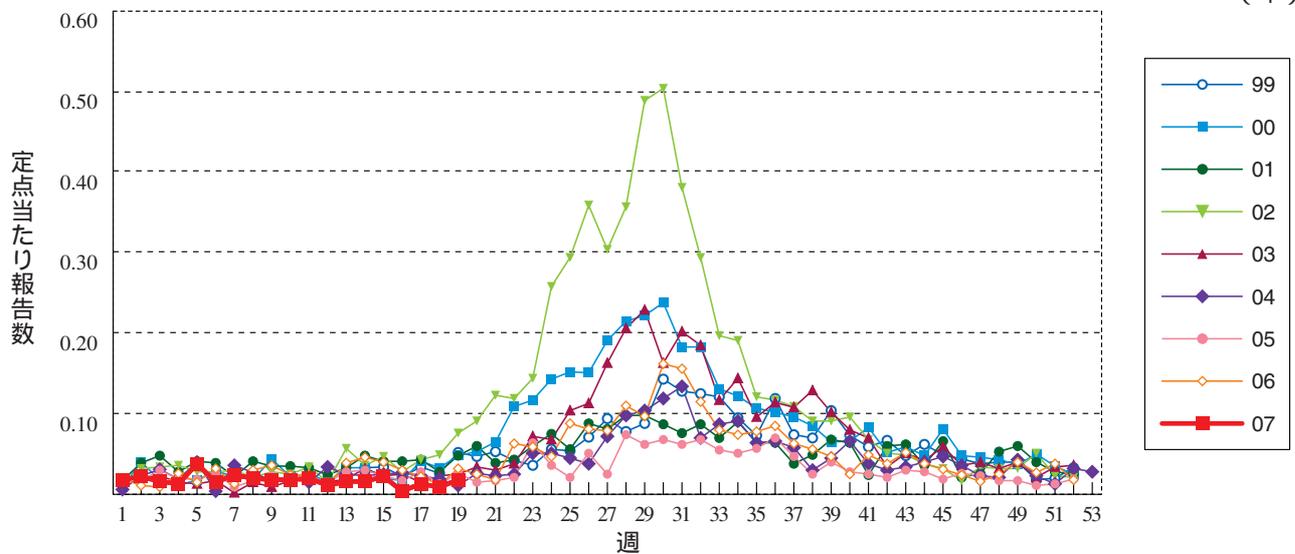
細菌性髄膜炎

(年)



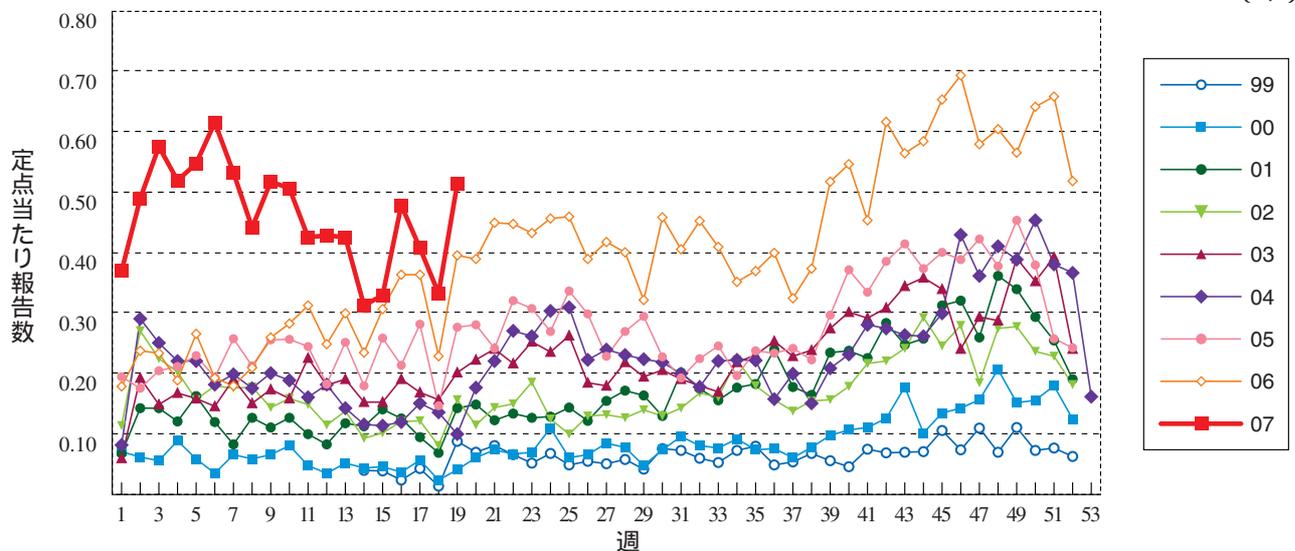
無菌性髄膜炎

(年)



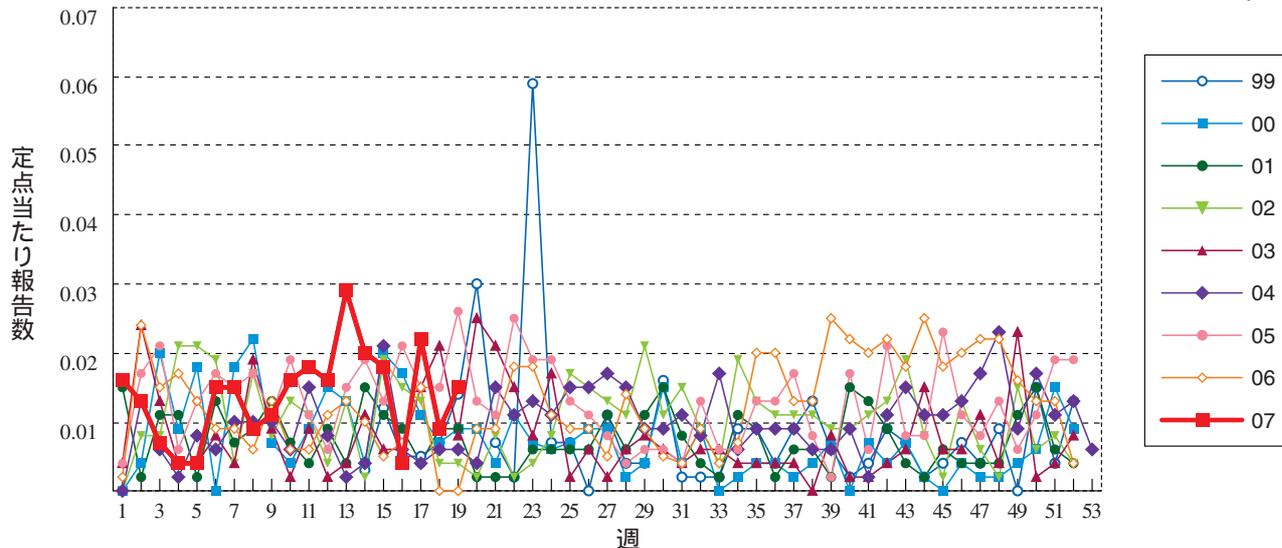
マイコプラズマ肺炎

(年)



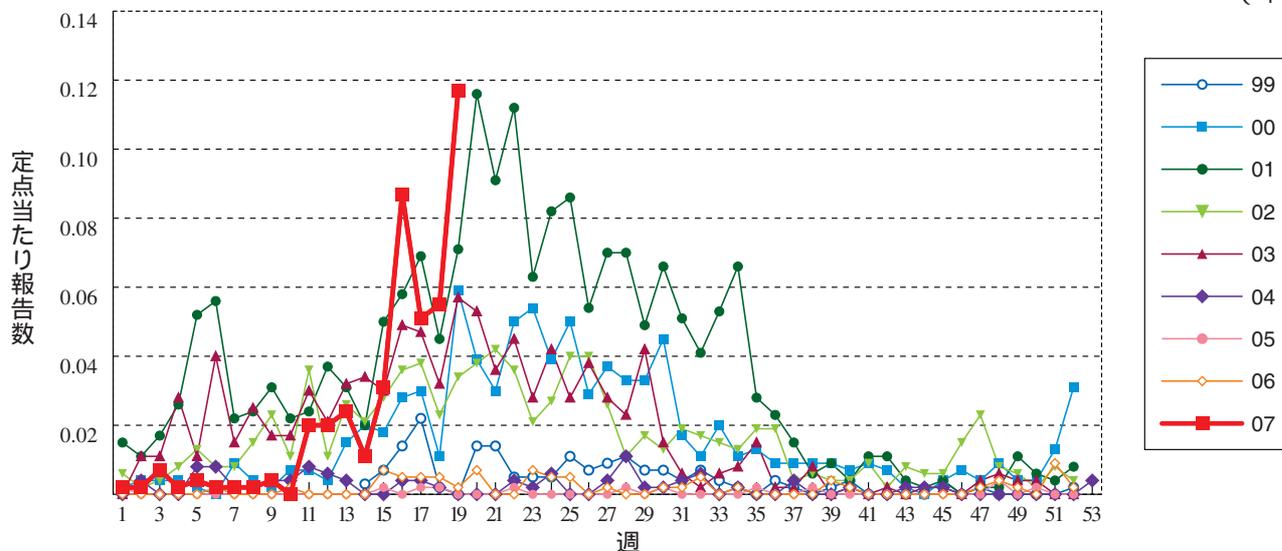
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



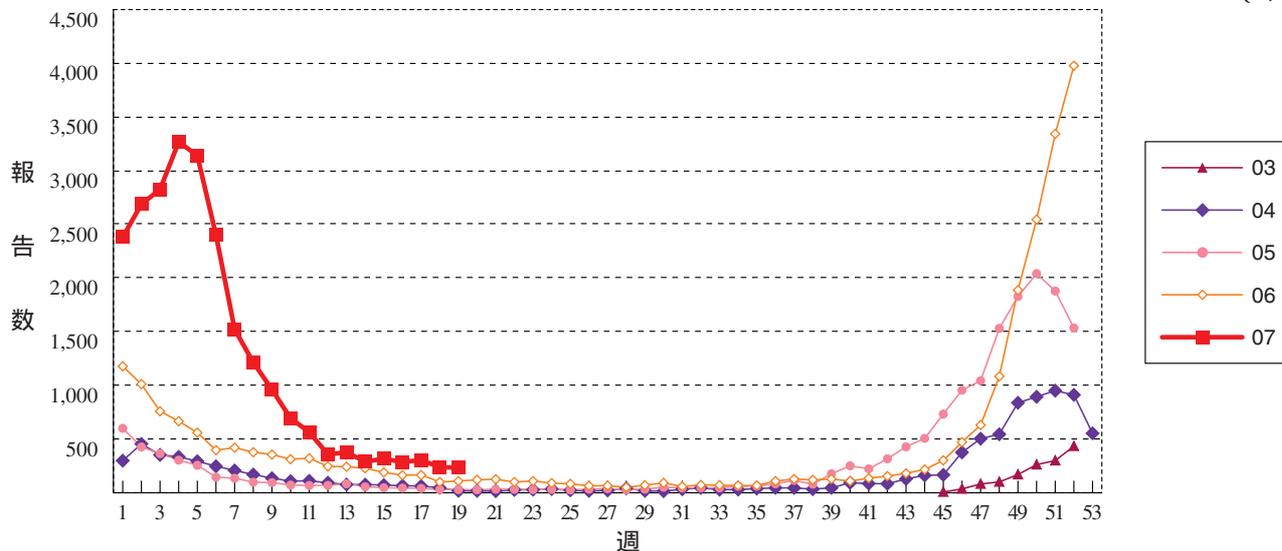
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





19週のデータ

注1)表中の報告数は5月17日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年19週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177	1464
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	48
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	38
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	29
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	29
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	74
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	121
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	142
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	19
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	20
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	33
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	58
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	27
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	104
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	56
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	65
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	60
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	70
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	26
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	14
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	38
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	5	13	180	46	312	1	13	1	7	-	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	1	6	-	1	-	-	-	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	15	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	28	2	17	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	3	25	4	15	-	2	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	1	8	-	-	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	27	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	3	14	2	10	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	1	1	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	4	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	1	42	-	24	-	3	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	6	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	8	31	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	5	65	-	5	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
北海道	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49	1	20	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類 鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年19週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	7	139	-	3	-	-	9	258	1	58	3	77	-	2	3	59	1	41
北海道	-	12	-	-	-	-	-	5	-	2	1	1	-	-	-	2	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	14	-	1	1	2	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
福島県	-	2	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	2	4	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6	-	-	-	1	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-
埼玉県	-	5	-	-	-	-	2	10	-	-	-	4	-	-	-	1	-	2
千葉県	1	7	-	-	-	-	-	6	-	-	1	11	-	-	-	3	-	1
東京都	1	8	-	2	-	-	2	47	-	14	-	3	-	-	-	5	-	2
神奈川県	-	8	-	-	-	-	-	32	-	-	-	2	-	1	-	2	-	5
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	3	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	12	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	10	-	-	-	-	-	17	-	3	-	1	-	-	-	3	-	4
三重県	-	2	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
京都府	1	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
大阪府	1	10	-	-	-	-	1	22	-	6	-	10	-	-	-	3	-	3
兵庫県	-	3	-	-	-	-	2	20	-	5	-	3	-	-	1	3	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	-	2	-	2
山口県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	-	9	-	4	-	4	-	-	-	2	-	2
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ(H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	14	445	2	18	1	7	-	-	9	177	2	23	-	-	2	29	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	8	1	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	8	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	1	14	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	4	142	1	7	-	-	-	-	1	32	-	-	-	-	-	6	-	-
神奈川県	1	35	-	5	-	-	-	-	-	8	1	1	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	1	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	3	51	-	-	-	1	-	-	2	19	-	-	-	-	1	2	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	9	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	53	-	3	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	9	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	4	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	9	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	7372	1.58	1311	0.43	6609	2.19	19415	6.43	8771	2.91	746	0.25	2193	0.73	2107	0.70	46	0.02
北海道	1080	4.76	39	0.27	495	3.49	577	4.06	395	2.78	8	0.06	219	1.54	72	0.51	1	0.01
青森県	226	3.48	38	0.90	76	1.81	175	4.17	64	1.52	1	0.02	15	0.36	15	0.36	-	-
岩手県	356	5.65	6	0.15	49	1.26	128	3.28	97	2.49	9	0.23	50	1.28	22	0.56	1	0.03
宮城県	344	3.58	22	0.37	91	1.52	428	7.13	125	2.08	2	0.03	47	0.78	41	0.68	-	-
秋田県	461	8.38	13	0.37	93	2.66	234	6.69	47	1.34	-	-	21	0.60	21	0.60	-	-
山形県	190	3.96	22	0.73	70	2.33	324	10.80	67	2.23	6	0.20	24	0.80	19	0.63	-	-
福島県	127	1.59	27	0.56	90	1.88	329	6.85	90	1.88	21	0.44	18	0.38	36	0.75	-	-
茨城県	47	0.42	26	0.35	217	2.89	245	3.27	164	2.19	22	0.29	19	0.25	31	0.41	-	-
栃木県	63	0.86	12	0.26	101	2.15	98	2.09	105	2.23	13	0.28	75	1.60	37	0.79	5	0.11
群馬県	43	0.43	9	0.15	171	2.80	340	5.57	179	2.93	7	0.11	68	1.11	45	0.74	-	-
埼玉県	410	1.66	81	0.51	576	3.65	1054	6.67	525	3.32	26	0.16	85	0.54	136	0.86	2	0.01
千葉県	68	0.36	43	0.35	270	2.18	520	4.19	369	2.98	32	0.26	161	1.30	93	0.75	18	0.15
東京都	92	0.32	110	0.74	300	2.01	767	5.15	403	2.70	30	0.20	71	0.48	108	0.72	1	0.01
神奈川県	122	0.41	30	0.15	409	2.07	933	4.71	631	3.19	21	0.11	119	0.60	167	0.84	2	0.01
新潟県	185	1.93	39	0.64	195	3.20	447	7.33	248	4.07	5	0.08	78	1.28	50	0.82	-	-
富山県	66	1.38	33	1.14	149	5.14	222	7.66	143	4.93	10	0.34	79	2.72	15	0.52	-	-
石川県	33	0.69	24	0.83	81	2.79	239	8.24	63	2.17	-	-	79	2.72	12	0.41	-	-
福井県	55	1.72	8	0.36	64	2.91	275	12.50	109	4.95	6	0.27	25	1.14	9	0.41	-	-
山梨県	10	0.25	3	0.13	72	3.00	75	3.13	23	0.96	3	0.13	11	0.46	7	0.29	-	-
長野県	107	1.22	17	0.31	75	1.36	398	7.24	129	2.35	7	0.13	70	1.27	31	0.56	-	-
岐阜県	105	1.21	18	0.34	60	1.13	187	3.53	93	1.75	3	0.06	38	0.72	18	0.34	-	-
静岡県	165	1.31	38	0.44	183	2.13	494	5.74	308	3.58	10	0.12	88	1.02	62	0.72	-	-
愛知県	298	1.54	64	0.36	274	1.52	1241	6.89	643	3.57	25	0.14	106	0.59	148	0.82	1	0.01
三重県	69	0.95	19	0.42	136	3.02	507	11.27	147	3.27	23	0.51	35	0.78	39	0.87	-	-
滋賀県	51	0.96	13	0.41	37	1.16	272	8.50	100	3.13	5	0.16	36	1.13	12	0.38	-	-
京都府	89	0.72	8	0.11	94	1.25	493	6.57	99	1.32	12	0.16	27	0.36	44	0.59	2	0.03
大阪府	92	0.37	86	0.45	423	2.19	1591	8.24	569	2.95	37	0.19	133	0.69	130	0.67	-	-
兵庫県	192	0.96	35	0.27	189	1.47	1178	9.13	446	3.46	12	0.09	48	0.37	96	0.74	1	0.01
奈良県	24	0.52	11	0.31	43	1.23	278	7.94	64	1.83	-	-	34	0.97	17	0.49	-	-
和歌山県	32	0.64	10	0.32	48	1.55	223	7.19	108	3.48	8	0.26	14	0.45	23	0.74	-	-
鳥取県	25	0.86	6	0.32	77	4.05	208	10.95	40	2.11	4	0.21	4	0.21	13	0.68	-	-
島根県	42	1.11	24	1.04	43	1.87	185	8.04	67	2.91	3	0.13	2	0.09	19	0.83	-	-
岡山県	101	1.28	23	0.43	78	1.44	387	7.17	92	1.70	5	0.09	6	0.11	23	0.43	-	-
広島県	156	1.36	68	0.94	116	1.61	490	6.81	155	2.15	19	0.26	25	0.35	45	0.63	1	0.01
山口県	138	1.97	49	1.00	182	3.71	385	7.86	169	3.45	21	0.43	36	0.73	46	0.94	-	-
徳島県	46	1.18	5	0.24	22	1.05	149	7.10	37	1.76	1	0.05	14	0.67	17	0.81	-	-
香川県	104	2.17	20	0.69	24	0.83	171	5.90	36	1.24	1	0.03	21	0.72	21	0.72	-	-
愛媛県	120	1.97	10	0.27	68	1.84	311	8.41	161	4.35	1	0.03	52	1.41	42	1.14	-	-
高知県	33	0.69	10	0.33	46	1.53	243	8.10	105	3.50	3	0.10	33	1.10	18	0.60	-	-
福岡県	194	0.98	54	0.45	206	1.72	768	6.40	427	3.56	48	0.40	37	0.31	79	0.66	7	0.06
佐賀県	25	0.64	21	0.91	38	1.65	81	3.52	100	4.35	40	1.74	10	0.43	22	0.96	-	-
長崎県	118	1.69	22	0.50	30	0.68	199	4.52	112	2.55	40	0.91	5	0.11	30	0.68	3	0.07
熊本県	204	2.55	12	0.25	124	2.58	251	5.23	138	2.88	93	1.94	8	0.17	30	0.63	-	-
大分県	48	0.83	21	0.58	101	2.81	518	14.39	113	3.14	15	0.42	10	0.28	44	1.22	-	-
宮崎県	169	2.86	16	0.44	118	3.28	406	11.28	168	4.67	31	0.86	21	0.58	45	1.25	-	-
鹿児島県	248	2.67	37	0.66	174	3.11	326	5.82	165	2.95	55	0.98	13	0.23	37	0.66	-	-
沖縄県	399	6.88	9	0.26	31	0.91	65	1.91	133	3.91	2	0.06	3	0.09	20	0.59	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12	0.00	444	0.15	214	0.07	1576	0.52	36	0.05	670	1.01	9	0.02	8	0.02	233	0.51
北海道	-	-	3	0.02	10	0.07	28	0.20	-	-	23	0.79	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	8	0.19	-	-	41	0.98	-	-	5	0.45	-	-	-	-	5	0.83
岩手県	-	-	9	0.23	-	-	50	1.28	-	-	16	1.33	-	-	-	-	14	0.70
宮城県	1	0.02	-	-	4	0.07	51	0.85	4	0.33	3	0.25	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	-	-	-	-	67	1.91	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	8	0.27	-	-	10	1.25	-	-	-	-	16	1.60
福島県	-	-	10	0.21	-	-	20	0.42	-	-	24	2.00	-	-	-	-	15	2.14
茨城県	1	0.01	3	0.04	3	0.04	19	0.25	1	0.06	33	2.06	-	-	-	-	4	0.33
栃木県	-	-	-	-	6	0.13	39	0.83	-	-	26	2.17	-	-	-	-	16	2.29
群馬県	-	-	1	0.02	3	0.05	49	0.80	1	0.07	31	2.21	-	-	-	-	11	1.38
埼玉県	1	0.01	11	0.07	35	0.22	54	0.34	7	0.17	27	0.64	-	-	-	-	14	1.56
千葉県	2	0.02	5	0.04	56	0.45	46	0.37	8	0.25	40	1.25	-	-	-	-	2	0.22
東京都	4	0.03	28	0.19	31	0.21	59	0.40	1	0.03	26	0.67	1	0.04	1	0.04	5	0.20
神奈川県	1	0.01	15	0.08	22	0.11	70	0.35	1	0.03	61	1.56	2	0.22	1	0.11	3	0.33
新潟県	-	-	4	0.07	-	-	117	1.92	-	-	9	0.90	-	-	-	-	3	0.25
富山県	-	-	4	0.14	-	-	19	0.66	-	-	9	1.29	-	-	-	-	10	2.00
石川県	-	-	2	0.07	-	-	4	0.14	-	-	25	3.57	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	-	-	2	0.09	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
山梨県	-	-	1	0.04	7	0.29	3	0.13	-	-	12	1.33	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	10	0.18	5	0.09	15	0.27	1	0.09	8	0.73	-	-	1	0.09	5	0.45
岐阜県	-	-	-	-	-	-	5	0.09	-	-	2	0.18	1	0.20	1	0.20	4	0.80
静岡県	-	-	15	0.17	2	0.02	38	0.44	-	-	13	0.65	-	-	-	-	10	1.11
愛知県	-	-	19	0.11	-	-	80	0.44	-	-	14	0.42	-	-	-	-	2	0.20
三重県	-	-	4	0.09	1	0.02	72	1.60	-	-	16	1.33	-	-	-	-	13	1.44
滋賀県	-	-	3	0.09	-	-	11	0.34	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	12	0.16	1	0.01	25	0.33	-	-	6	0.33	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	25	0.13	10	0.05	90	0.47	2	0.05	12	0.29	1	0.08	1	0.08	13	1.08
兵庫県	1	0.01	7	0.05	2	0.02	85	0.66	1	0.03	28	0.80	1	0.09	3	0.27	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	5	0.14	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	2	0.06	16	0.52	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	4	0.21	-	-	8	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	12	0.52	2	0.09	12	0.52	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	2	0.04	1	0.02	27	0.50	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	40	0.56	2	0.03	17	0.24	1	0.05	29	1.53	-	-	-	-	6	0.29
山口県	-	-	20	0.41	-	-	12	0.24	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.05	1	0.05	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	11	0.38	1	0.03	8	0.28	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20
愛媛県	-	-	7	0.19	-	-	35	0.95	-	-	19	2.38	-	-	-	-	5	0.83
高知県	-	-	3	0.10	-	-	51	1.70	-	-	11	3.67	1	0.14	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	55	0.46	-	-	76	0.63	1	0.04	23	0.88	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	9	0.39	-	-	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	23	0.52	1	0.02	5	0.11	6	0.75	7	0.88	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	24	0.50	-	-	8	0.17	1	0.11	16	1.78	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	7	0.19	-	-	25	0.69	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	14	0.39	-	-	48	1.33	-	-	6	1.00	1	0.14	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	-	-	3	0.05	38	0.68	-	-	7	1.00	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	13	0.38	-	-	10	0.29	-	-	16	1.60	-	-	-	-	25	3.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年19週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	7	0.02	53	0.12	233
北海道	-	-	3	0.14	41
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	6	0.50	2
秋田県	-	-	-	-	3
山形県	4	0.40	2	0.20	-
福島県	-	-	-	-	16
茨城県	-	-	1	0.08	-
栃木県	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	4	0.44	7
千葉県	-	-	4	0.44	6
東京都	-	-	19	0.76	7
神奈川県	-	-	2	0.22	6
新潟県	2	0.17	-	-	4
富山県	-	-	1	0.20	-
石川県	-	-	1	0.20	3
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	3	0.30	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	11
兵庫県	-	-	1	0.09	13
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	1	0.09	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.50	-
岡山県	-	-	-	-	13
広島県	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	1	0.09	-
宮崎県	-	-	-	-	14
鹿児島県	1	0.08	-	-	9
沖縄県	-	-	-	-	16

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年19週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年19週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第19号 2007年5月25日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。